

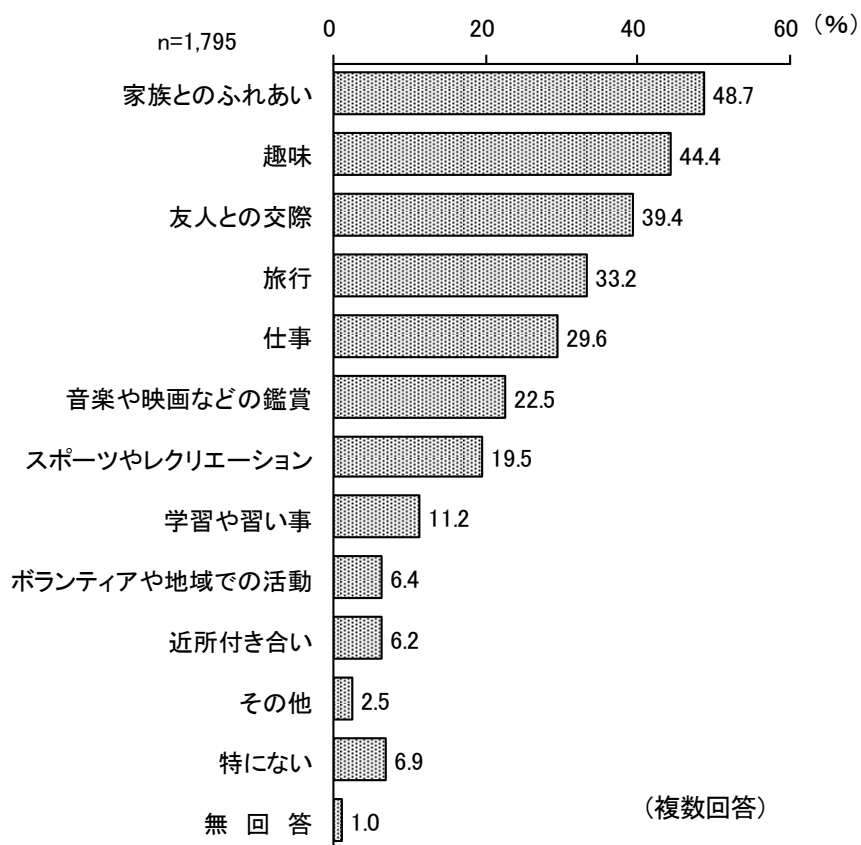
6. 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度

6-1 現在の生きがい

◇「家族とのふれあい」が5割弱

問20 あなたの現在の生きがいはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

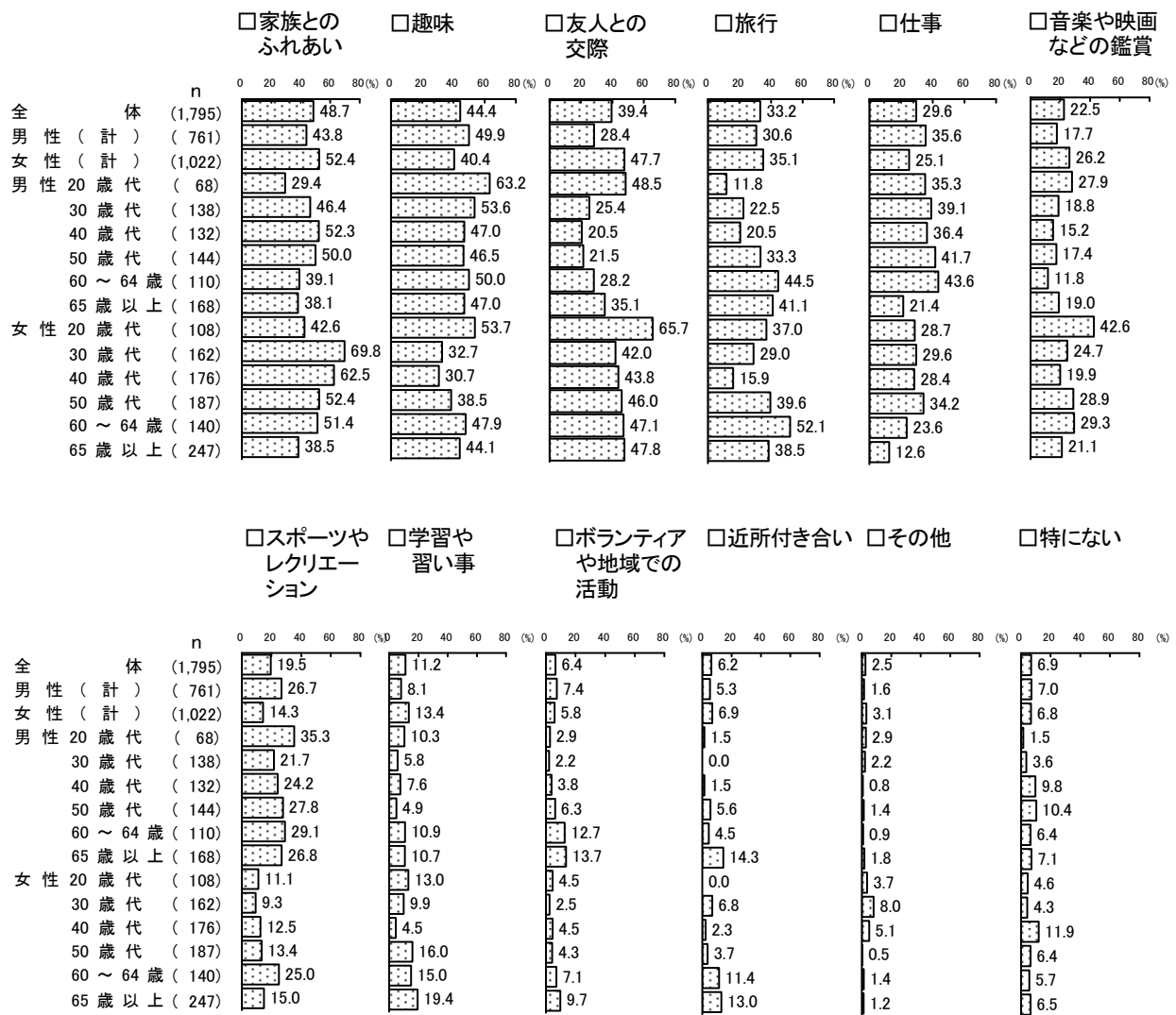
図6-1-1



現在の生きがいについて聞いたところ、「家族とのふれあい」が5割弱（48.7%）と最も高く、ついで「趣味」（44.4%）、「友人との交際」（39.4%）、「旅行」（33.2%）、「仕事」（29.6%）の順が続いている。

(図6-1-1)

図 6-1-2 現在の生きがいー性・年齢別



性別にみると、「友人との交際」は 19.3 ポイント、「家族とのふれあい」は 8.6 ポイント、それぞれ女性の方が高く、「スポーツやレクリエーション」は 12.4 ポイント、「仕事」は 10.5 ポイント、「趣味」は 9.5 ポイント、それぞれ男性の方が高くなっている。

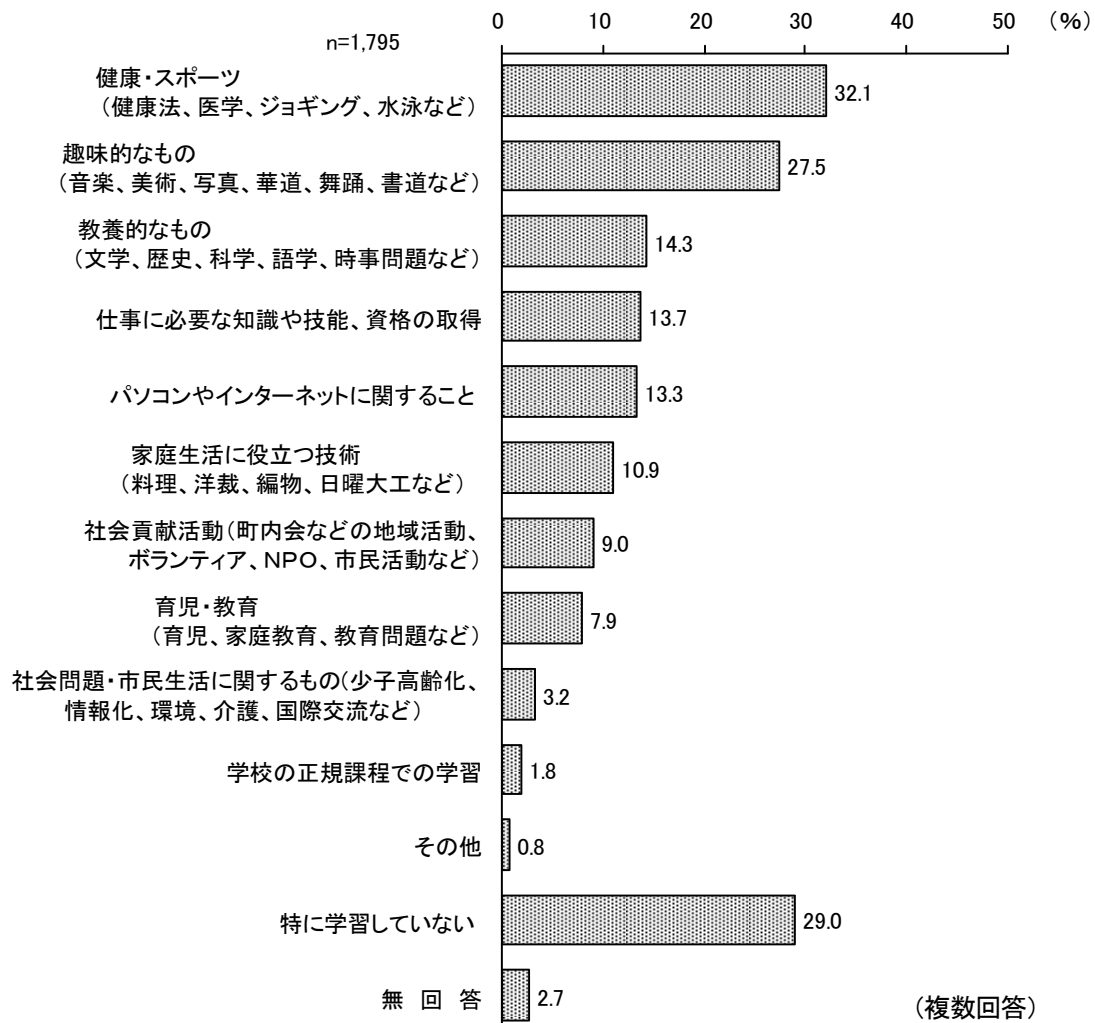
性・年齢別にみると、「家族とのふれあい」は、女性の 30 歳代でほぼ 7 割 (69.8%) と高く、「趣味」は男性の 20 歳代と 30 歳代、女性の 20 歳代で 5 割を超えている。「友人との交際」は女性の 20 歳代で 6 割台半ば (65.7%) と高く、「旅行」は女性の 60～64 歳で 5 割強 (52.1%) となっており、「仕事」は男性の 50 歳代と 60～64 歳で 4 割を超え高くなっている。「音楽や映画などの鑑賞」は女性の 20 歳代で 4 割強 (42.6%)、「スポーツやレクリエーション」は男性の 20 歳代で 3 割台半ば (35.3%) となっている。また、「学習や習い事」は女性の 65 歳以上でほぼ 2 割 (19.4%) と高くなっている。(図 6-1-2)

6-2 この1年間に取り組んだ学習活動

◇「健康・スポーツ」が3割強

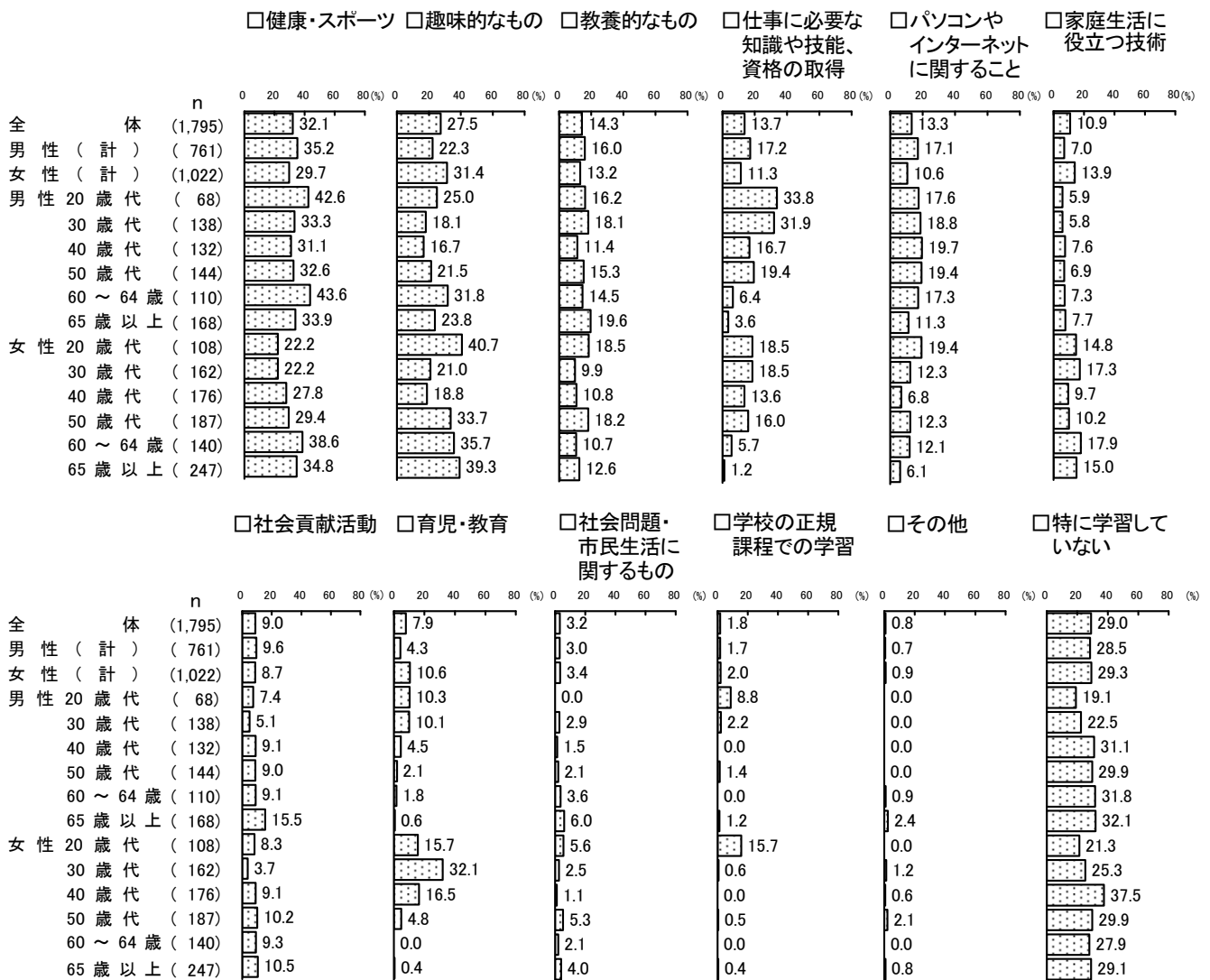
問21 あなたがこの1年間に取り組んだ生涯学習活動はどれですか。(〇はいくつでも)

図6-2-1



この1年間に取り組んだ学習活動について聞いたところ、「健康・スポーツ（健康法、医学、ジョギング、水泳など）」が3割強（32.1%）と最も高く、ついで「趣味的なもの（音楽、美術、写真、華道、舞踊、書道など）」（27.5%）、「教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、時事問題など）」（14.3%）、「仕事に必要な知識や技能、資格の取得」（13.7%）と続いている。「特に学習していない」は、ほぼ3割（29.0%）となっている。（図6-2-1）

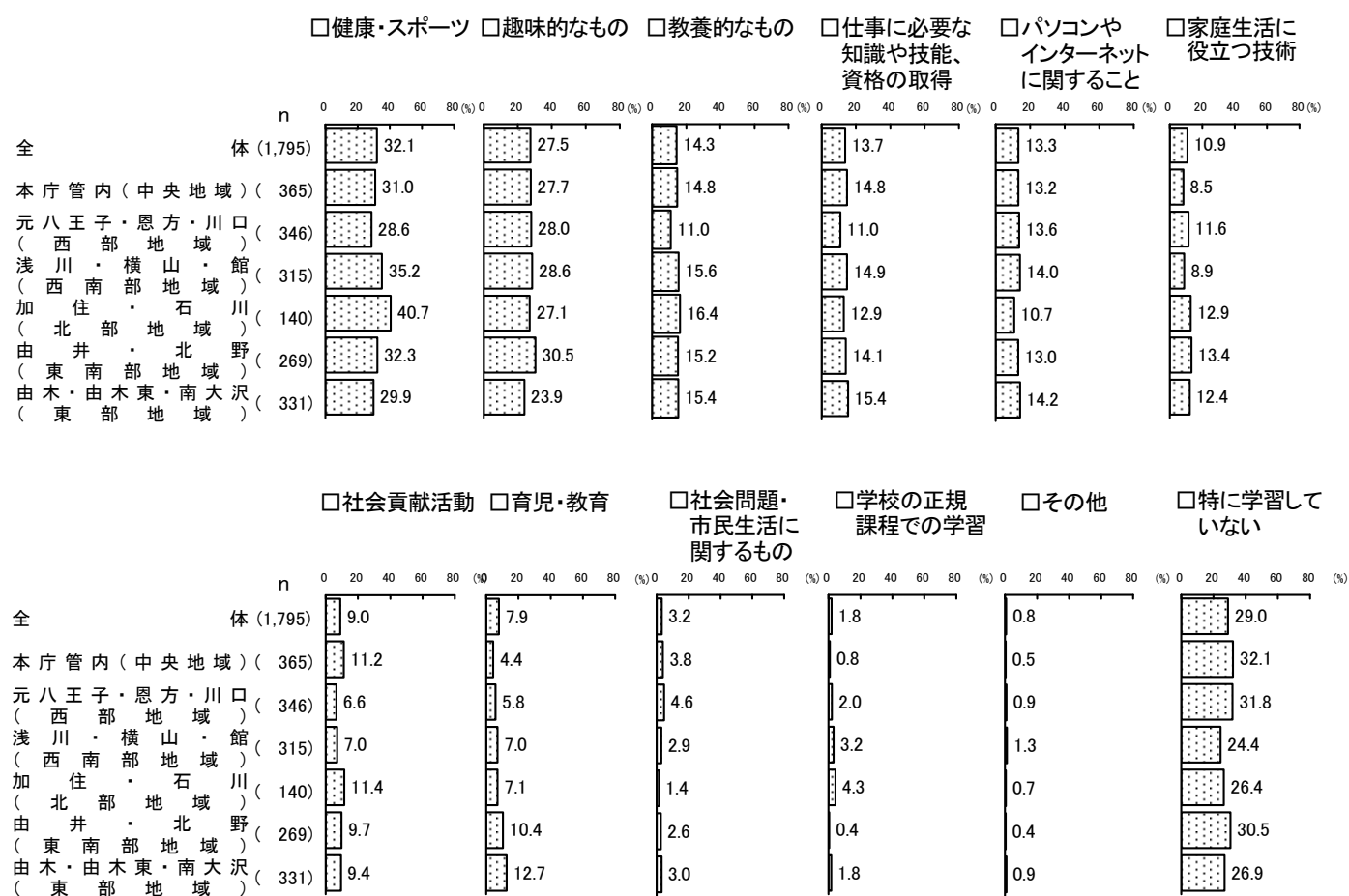
図6-2-2 この1年間に取り組んだ学習活動一性・年齢別



性別にみると、「パソコンやインターネットに関すること」では6.5ポイント、「仕事に必要な知識や技能、資格の取得」では5.9ポイント、それぞれ男性のほうが高く、「趣味的なもの」では9.1ポイント、「家庭生活に役立つ技術」では6.9ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。

性・年齢別にみると、「健康・スポーツ」は男性の60～64歳(43.6%)と20歳代(42.6%)で4割強と高く、「趣味的なもの」は女性の20歳代(40.7%)と65歳以上(39.3%)でほぼ4割と高くなっている。「仕事に必要な知識や技能、資格の取得」は男性の20歳代と30歳代で3割を超えている。「育児・教育」は女性の30歳代で3割強(32.1%)と高くなっている。(図6-2-2)

図6-2-3 この1年間に取り組んだ学習活動—居住地域別



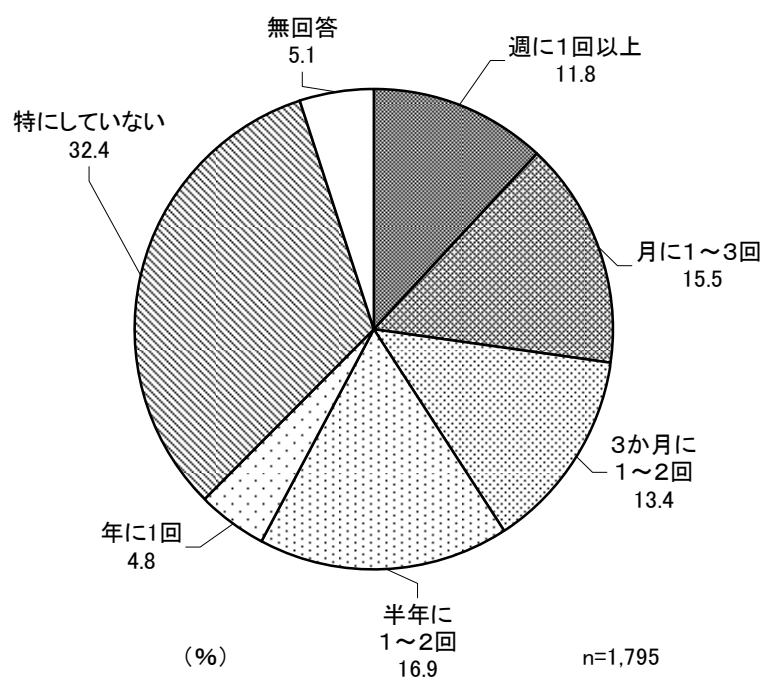
居住地域別にみると、「健康・スポーツ」は加住・石川（北部地域）でほぼ4割（40.7%）とやや高くなっている。（図6-2-3）

6-3 この1年間の芸術・文化活動の頻度

◇「特にしていない」が3割強

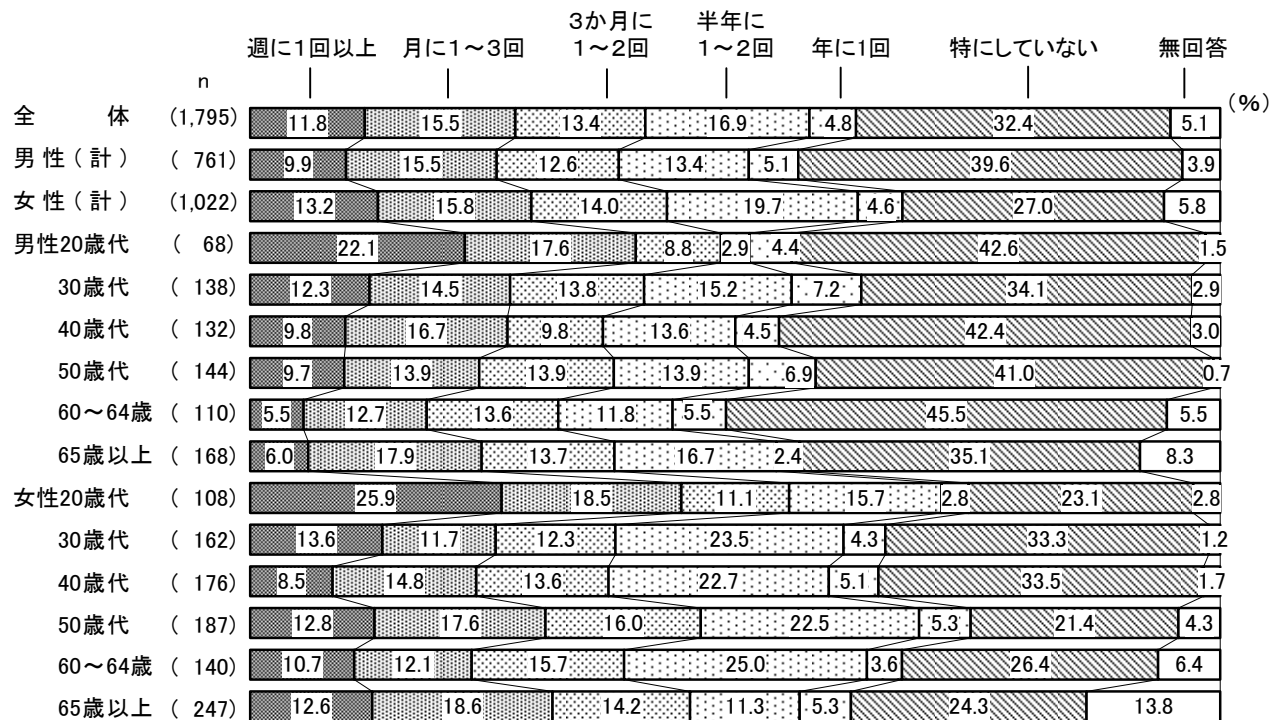
問22 あなたは、この1年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。
(鑑(観)賞も含みます)(○は1つだけ)

図6-3-1



この1年間の芸術・文化活動の参加頻度について聞いたところ、「週に1回以上」が1割強(11.8%)、「月に1~3回」が1割台半ば(15.5%)、「3か月に1~2回」が1割強(13.4%)、「半年に1~2回」が2割弱(16.9%)となっている。「特にしていない」は3割強(32.4%)となっている。(図6-3-1)

図6-3-2 この1年間の芸術・文化活動の頻度－性・年齢別



性別にみると、「週に1回以上」と「月に1～3回」の合計は女性のほうが3.6ポイント高くなっている。「特にしていない」は男性のほうが12.6ポイント高い。

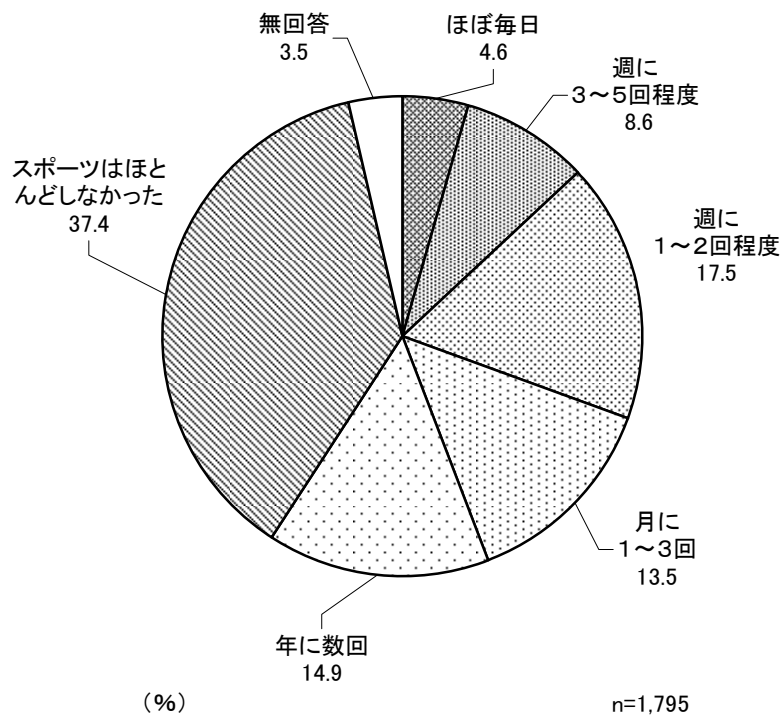
性・年齢別にみると、「週に1回以上」と「月に1～3回」の合計は、男女ともに20歳代が最も高く（男性39.7%、女性44.4%）、60～64歳が最も低くなっている（男性18.2%、女性22.8%）。(図6-3-2)

6-4 この1年間に行ったスポーツの頻度

◇『週1回以上』がほぼ3割

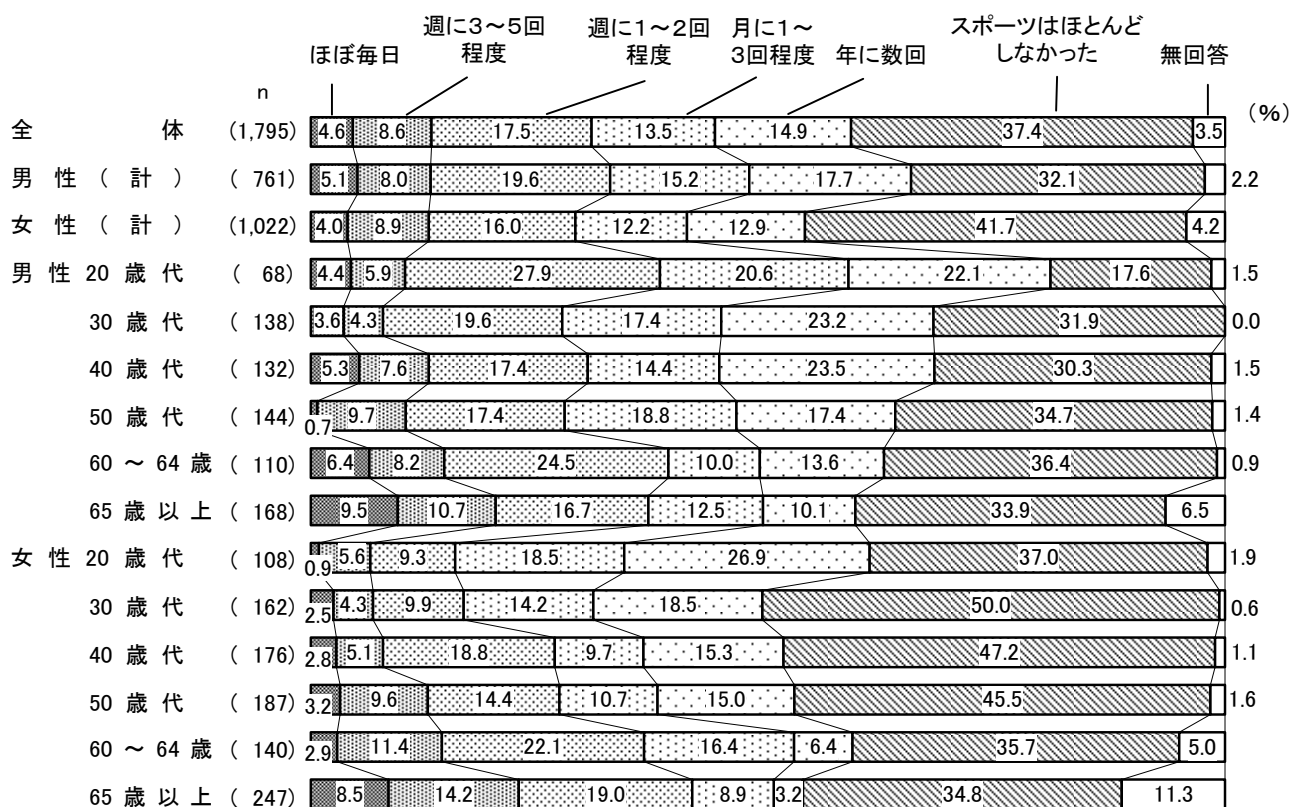
問23 あなたがこの1年間にスポーツを行った回数はどのくらいですか。複数のスポーツを行っている場合は、その合計数をお答えください。(○は1つだけ)

図6-4-1



この1年間にスポーツを行った回数を聞いたところ、「週に1～2回程度」が2割弱（17.5%）で、「ほぼ毎日」（4.6%）と「週に3～5回程度」（8.6%）を合わせた『週1回以上』がほぼ3割（30.7%）となっている。「月に1～3回程度」は1割強（13.5%）、「年に数回」は1割台半ば（14.9%）、「スポーツはほとんどしなかった」は4割弱（37.4%）となっている。（図6-4-1）

図6-4-2 この1年間に行ったスポーツの頻度－性・年齢別

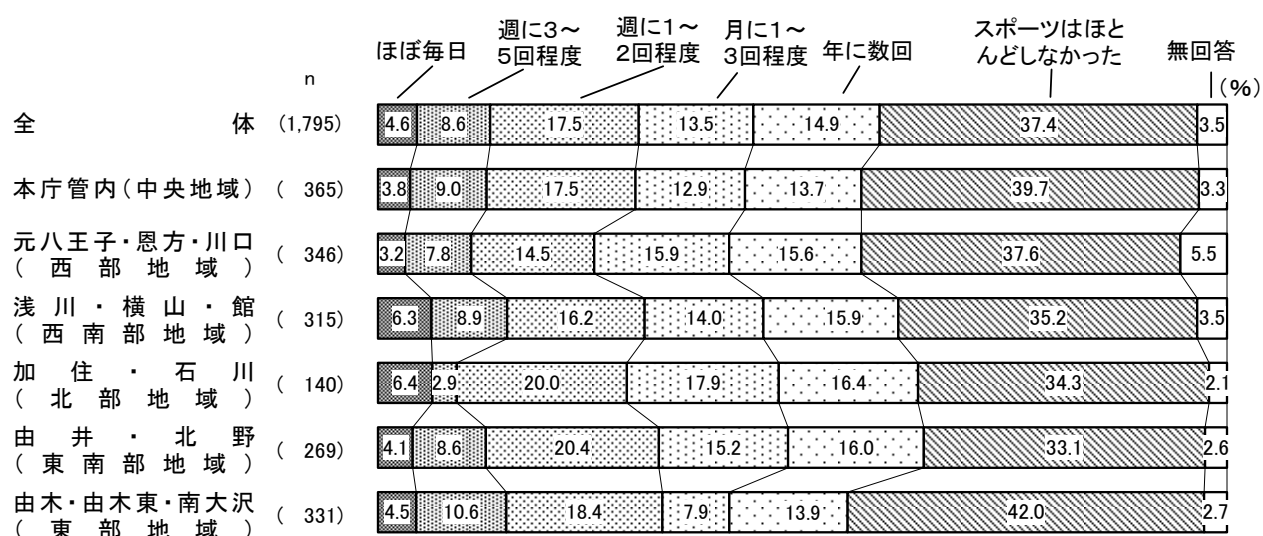


性別にみると、「スポーツはほとんどしなかった」は女性のほうが9.6ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『週1回以上』は男性の20歳代と男女とも60歳以上で4割弱と高くなっている。「スポーツはほとんどしなかった」は女性の30歳代～50歳代で4割台半ばを超えて高くなっている。

(図6-4-2)

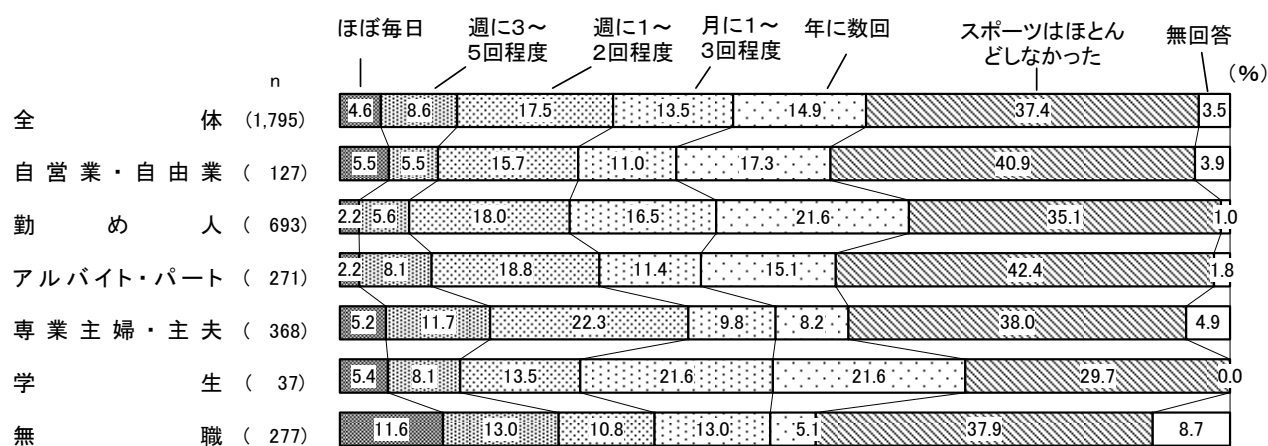
図6-4-3 この1年間に行ったスポーツの頻度－居住地域別



居住地域別にみると、『週1回以上』は由木・由木東・南大沢（東部地域）（33.5%）、由井・北野（東南部地域）（33.1%）、浅川・横山・館（西南部地域）（31.4%）で3割強と、他の地域と比べて高くなっている。「スポーツはほとんどしなかった」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割強（42.0%）と高くなっている。

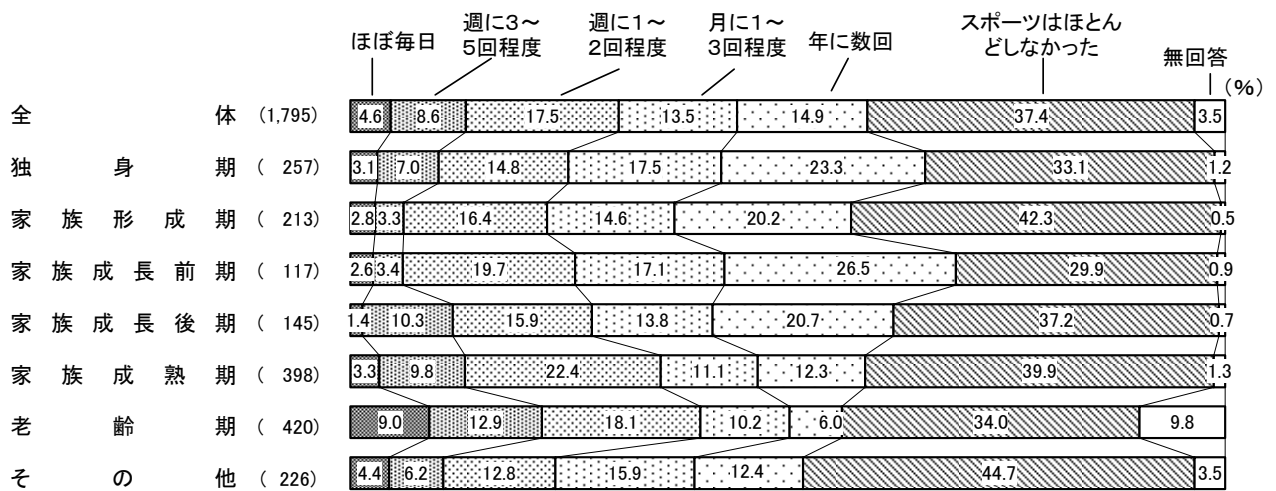
(図6-4-3)

図6-4-4 この1年間に行ったスポーツの頻度－職業別



職業別にみると、『週1回以上』は「専業主婦・主夫」でほぼ4割（39.2%）と高くなっている。また、「スポーツはほとんどしなかった」はアルバイト・パートが4割強（42.4%）と高くなっている。(図6-4-4)

図6-4-5 この1年間に行ったスポーツの頻度－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、『週1回以上』は老齢期で4割（40.0%）と高くなっている。

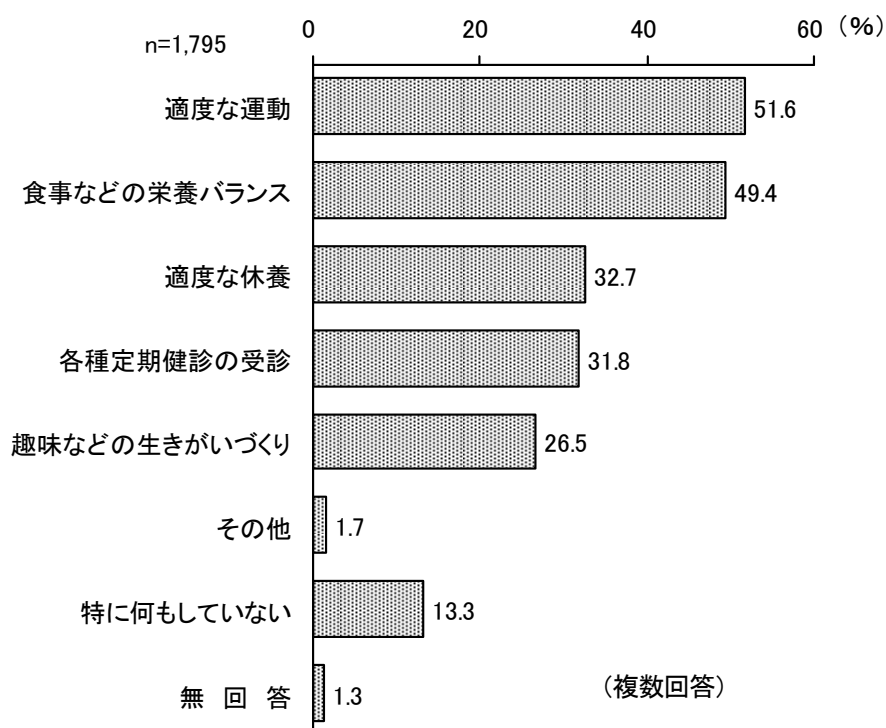
（図6-4-5）

6-5 健康のために心がけていること

◇「適度な運動」が5割強、ついで「食事などの栄養バランス」がほぼ5割

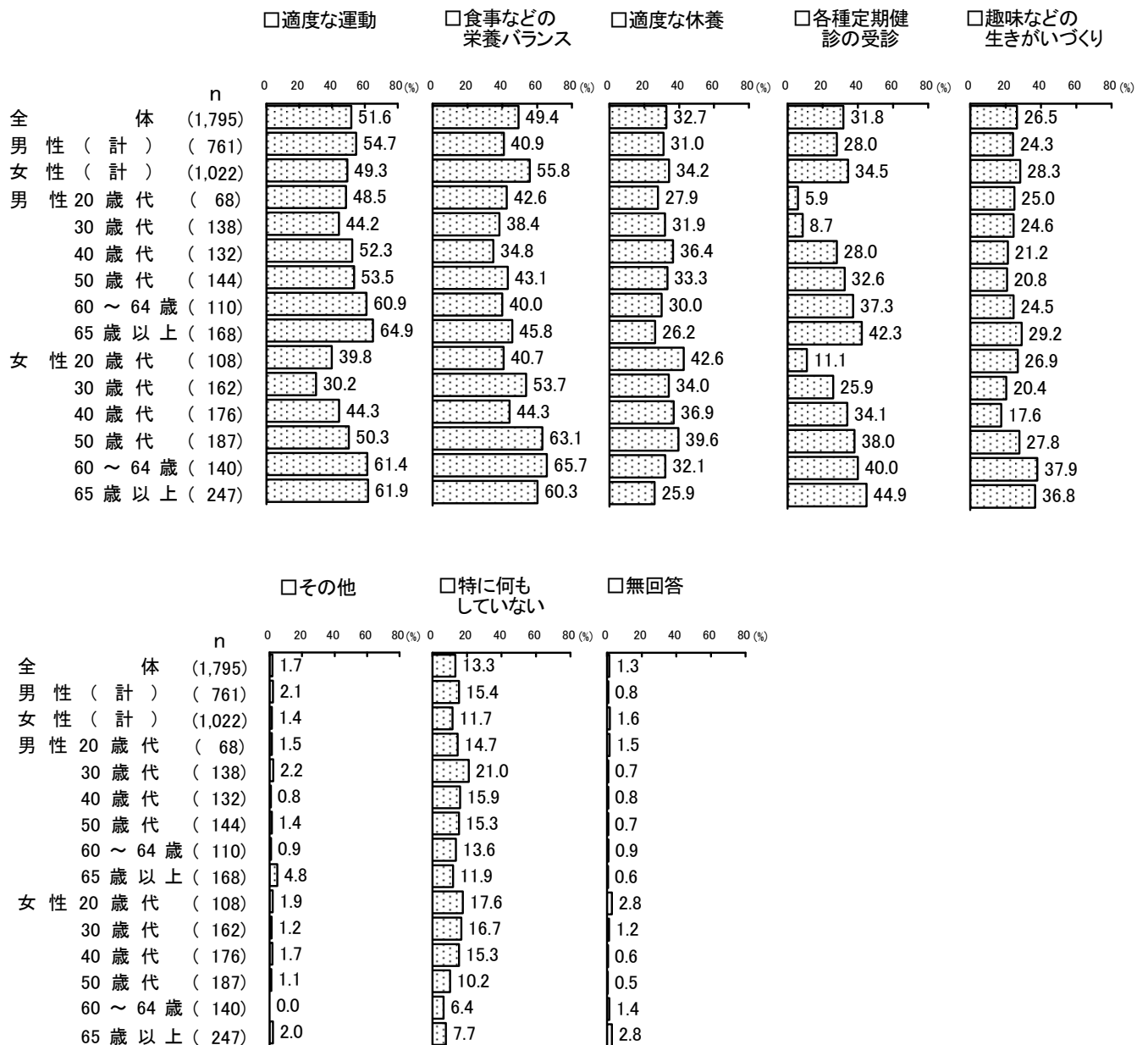
問24 あなたが健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることはどれですか。
(○はいくつでも)

図 6-5-1



健康の維持・増進のために自ら心がけて行動していることについて聞いたところ、「適度な運動」(51.6%)が5割強と最も高く、ついで「食事などの栄養バランス」(49.4%)、「適度な休養」(32.7%)、「各種定期健診の受診」(31.8%)と続いている。(図 6-5-1)

図6-5-2 健康のために心がけていること－性・年齢別



性別にみると、「適度な運動」は男性のほうが5.4ポイント高く、「食事などの栄養バランス」は女性のほうが14.9ポイント高くなっている。

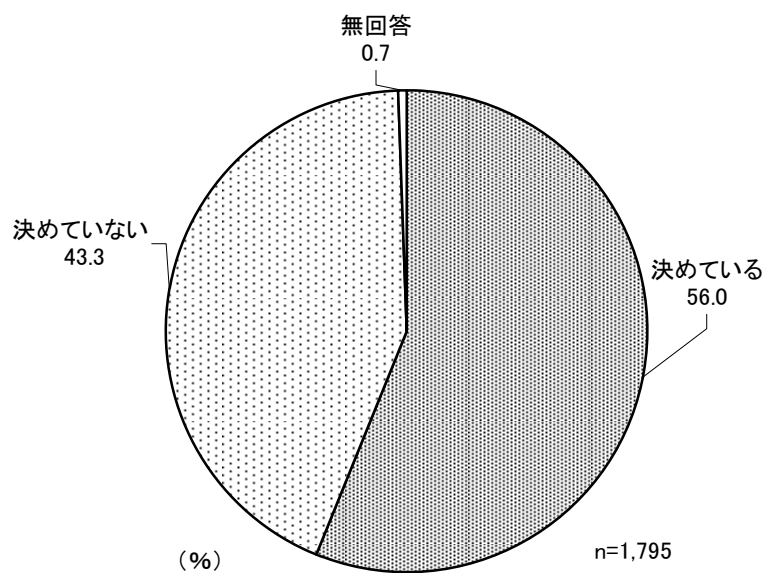
性・年齢別にみると、「適度な運動」は男女ともに60歳以上は6割を超えて高くなっている。「食事などの栄養バランス」では女性の50歳以上で6割を超えて高く、「適度な休養」は女性の20歳代で4割強(42.6%)と高くなっている。「各種定期健診の受診」は男女とも概ね年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられ、「趣味などの生きがいづくり」は女性の60歳以上で4割弱と高くなっている。(図6-5-2)

6-6 かかりつけの医療機関の有無

◇「決めている」が6割弱

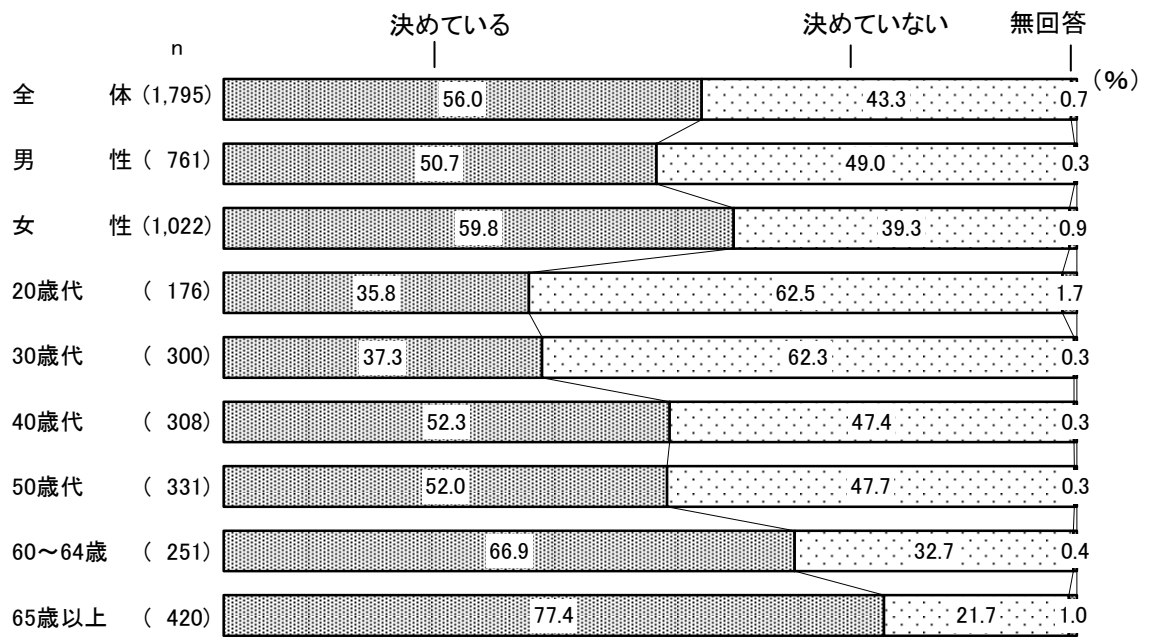
問25 あなたは、「かかりつけ医」を決めていますか。(○は1つだけ)

図6-6-1



「かかりつけ医」を決めているかについて聞いたところ、「決めている」が6割弱（56.0%）、「決めていない」が4割強（43.3%）となっている。（図6-6-1）

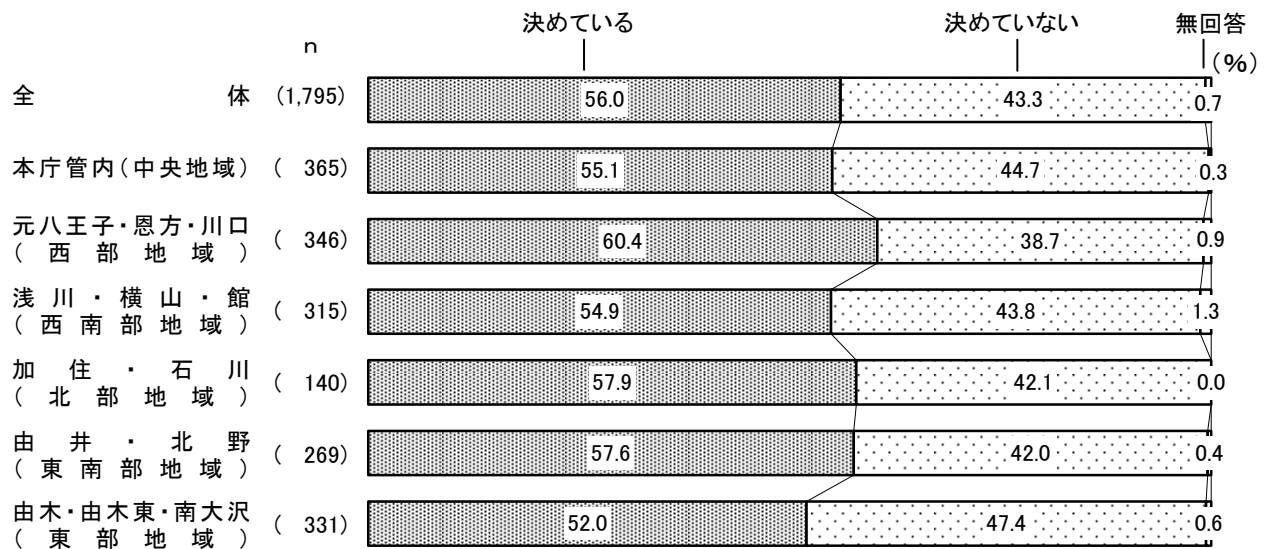
図 6-6-2 かかりつけの医療機関の有無－性別・年齢別



性別にみると、「決めている」は女性のほうが9.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「決めている」は概ね年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられ、65 歳以上では8割弱(77.4%)を占めている。(図6-6-2)

図 6-6-3 かかりつけの医療機関の有無－居住地域別



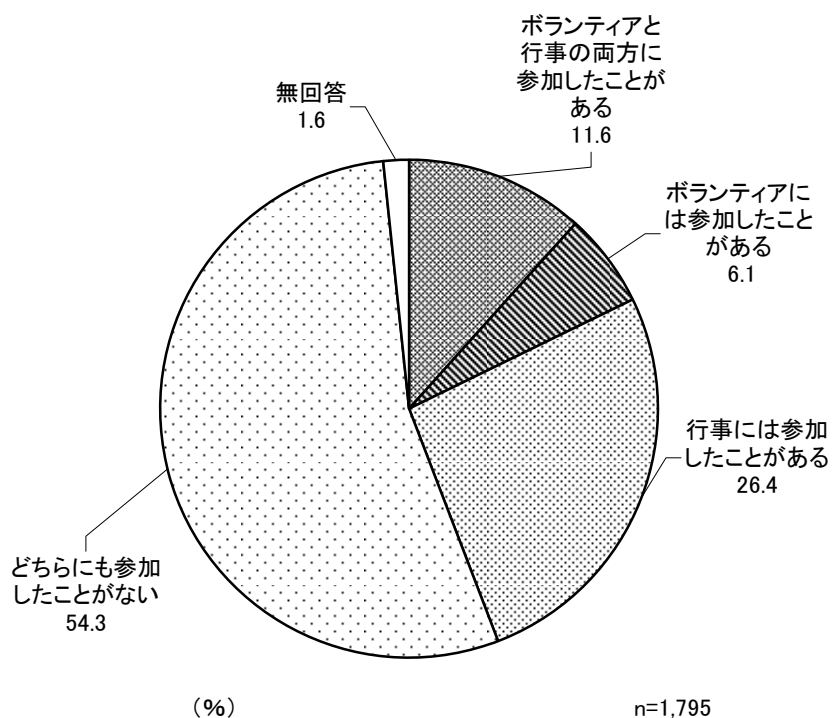
居住地域別にみると、「決めている」は元八王子・恩方・川口(西部地域)でほぼ6割(60.4%)とやや高くなっている。(図6-6-3)

6-7 この1年間の地域行事への参加

◇『参加したことがある』が4割台半ば

問 26 あなたは、この1年間に地域の中でボランティア活動（清掃や防犯・防災活動、学校教育や地域スポーツ活動への支援・協力など）や行事（町内会等の地域のイベント・お祭りなど）に参加したことがありますか。（○は1つだけ）

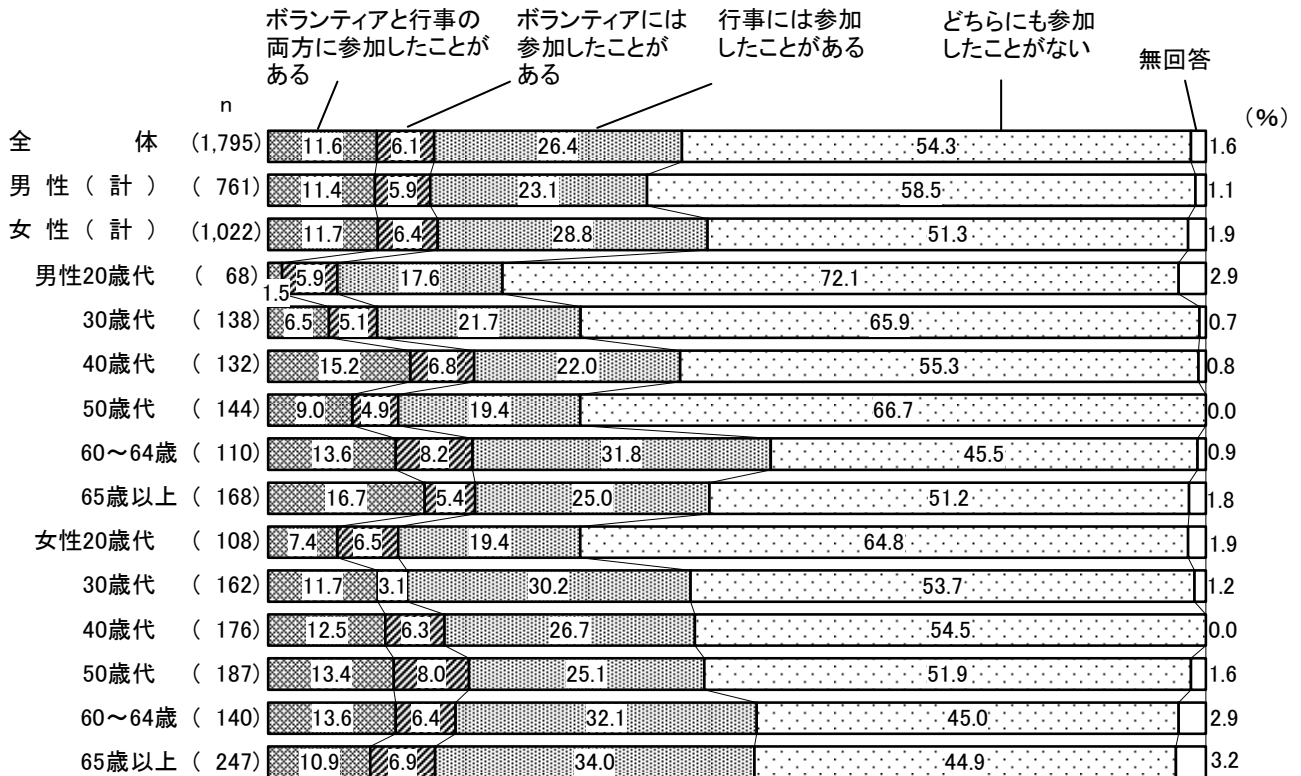
図 6-7-1



この1年間に地域の中でボランティア活動や行事に参加したことがあるか聞いたところ、「行事には参加したことがある」は3割弱（26.4%）、「ボランティアと行事の両方に参加したことがある」（11.6%）、「ボランティアには参加したことがある」（6.1%）と続き、3項目を合わせた『参加したことがある』は4割台半ば（44.1%）となっている。一方、「どちらにも参加したことがない」は5割台半ば（54.3%）となっている。

（図 6-7-1）

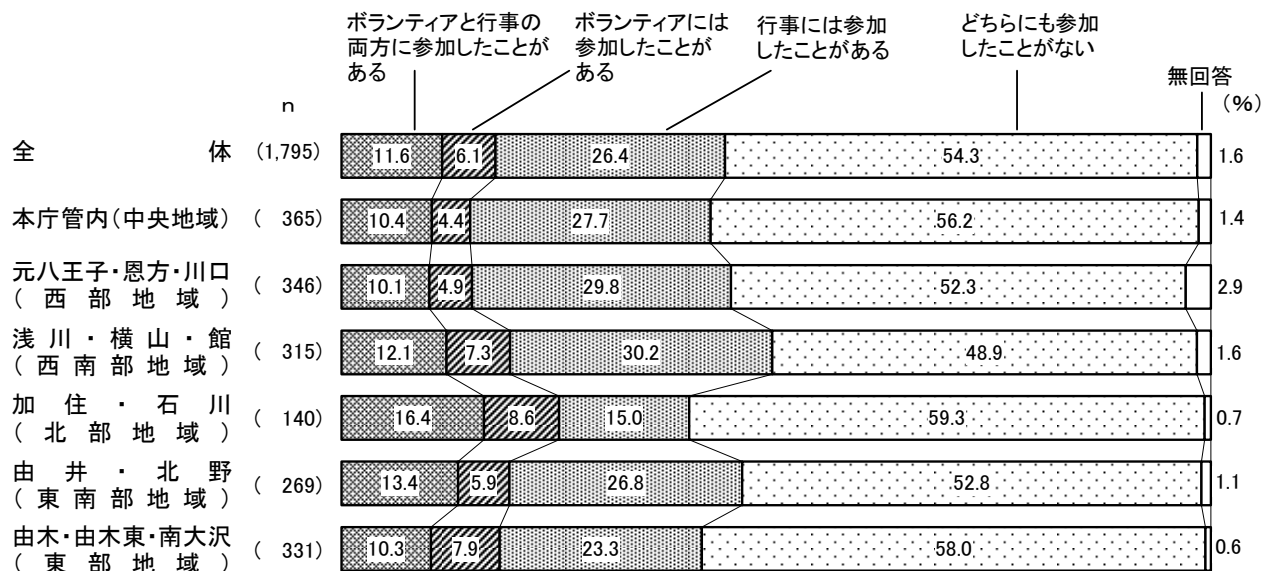
図6-7-2 この1年間の地域行事への参加一性・年齢別



性別にみると、『参加したことがある』は女性のほうが6.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『参加したことがある』は男性の60～64歳で5割強（53.6%）と最も高く、男性の20歳代で2割台半ば（25.0%）と最も低くなっている。（図6-7-2）

図6-7-3 この1年間の地域行事への参加一居住地別



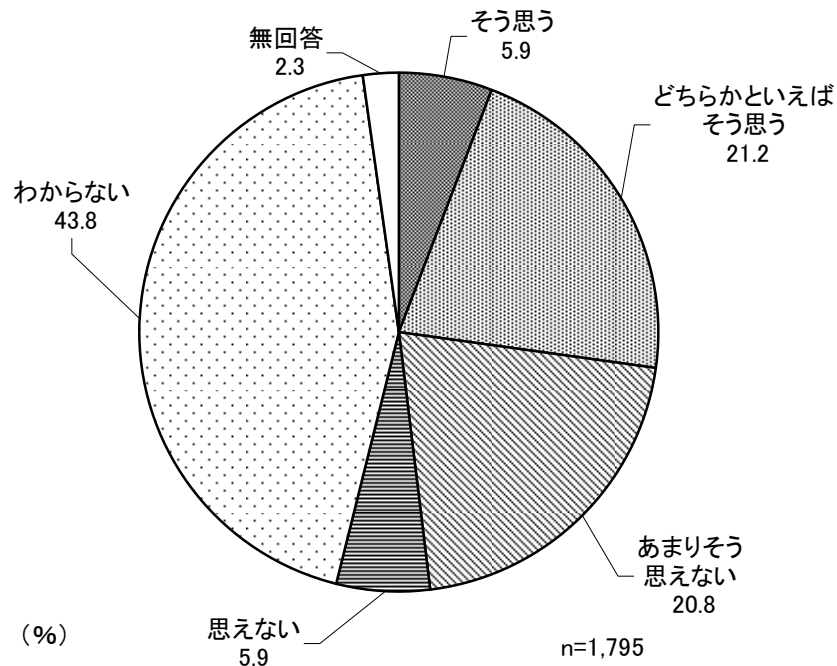
居住地域別にみると、『参加したことがある』は、浅川・横山・館（西南部地域）でほぼ5割（49.6%）と最も高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割強（41.5%）と最も低くなっている。（図6-7-3）

6-8 市民協働の推進状況

◇『そう思う』は3割弱

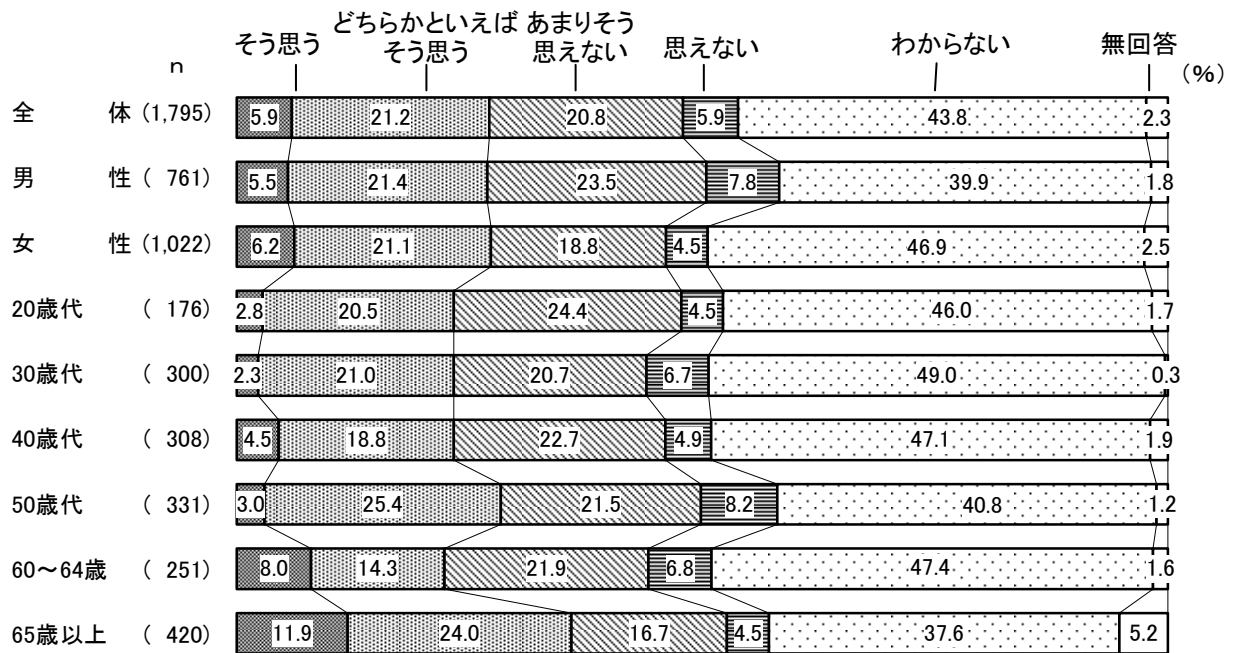
問27 あなたは、市が市民協働のまちづくりを進めていると感じますか。(○は1つだけ)

図6-8-1



市が市民協働のまちづくりを進めていると感じるかどうか聞いたところ、「そう思う」は5.9%にとどまり、「どちらかといえばそう思う」(21.2%)と合わせた『そう思う』は3割弱(27.1%)となっている。一方、「あまりそう思えない」(20.8%)と「思えない」(5.9%)を合わせた『思えない』は3割弱(26.7%)となっている。(図6-8-1)

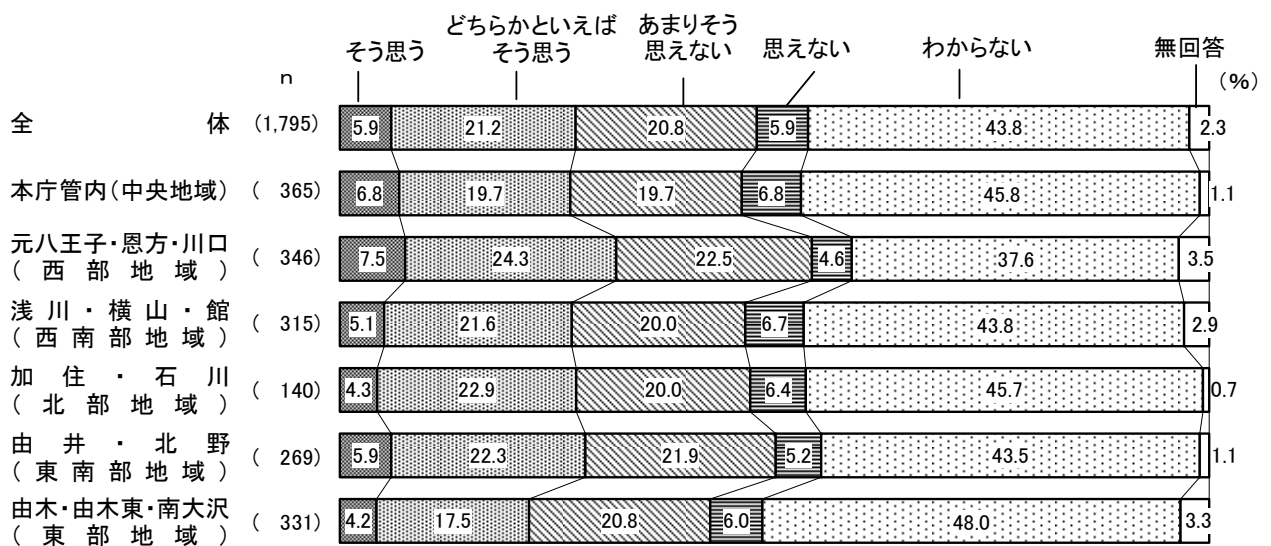
図6-8-2 市民協働の推進状況－性別・年齢別



性別にみると、『そう思う』は男女で差はないが、『思えない』は男性のほうが8.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『そう思う』は65歳以上で3割半ば（35.9%）と高くなっている。（図6-8-2）

図6-8-3 市民協働の推進状況－居住地域別



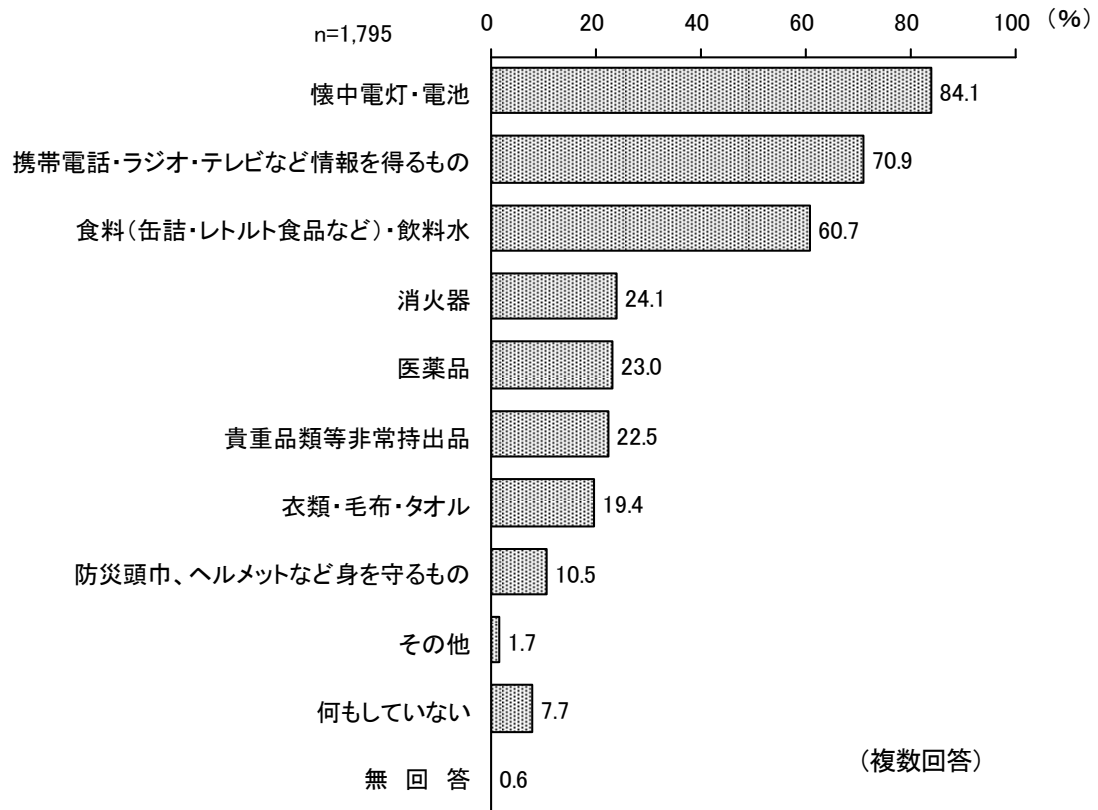
居住地域別にみると、『そう思う』は元八王子・恩方・川口（西部地域）でほぼ3割強（31.8%）と最も高くなっている。（図6-8-3）

6-9 災害に対する準備

◇「懐中電灯・電池」が8割台半ば

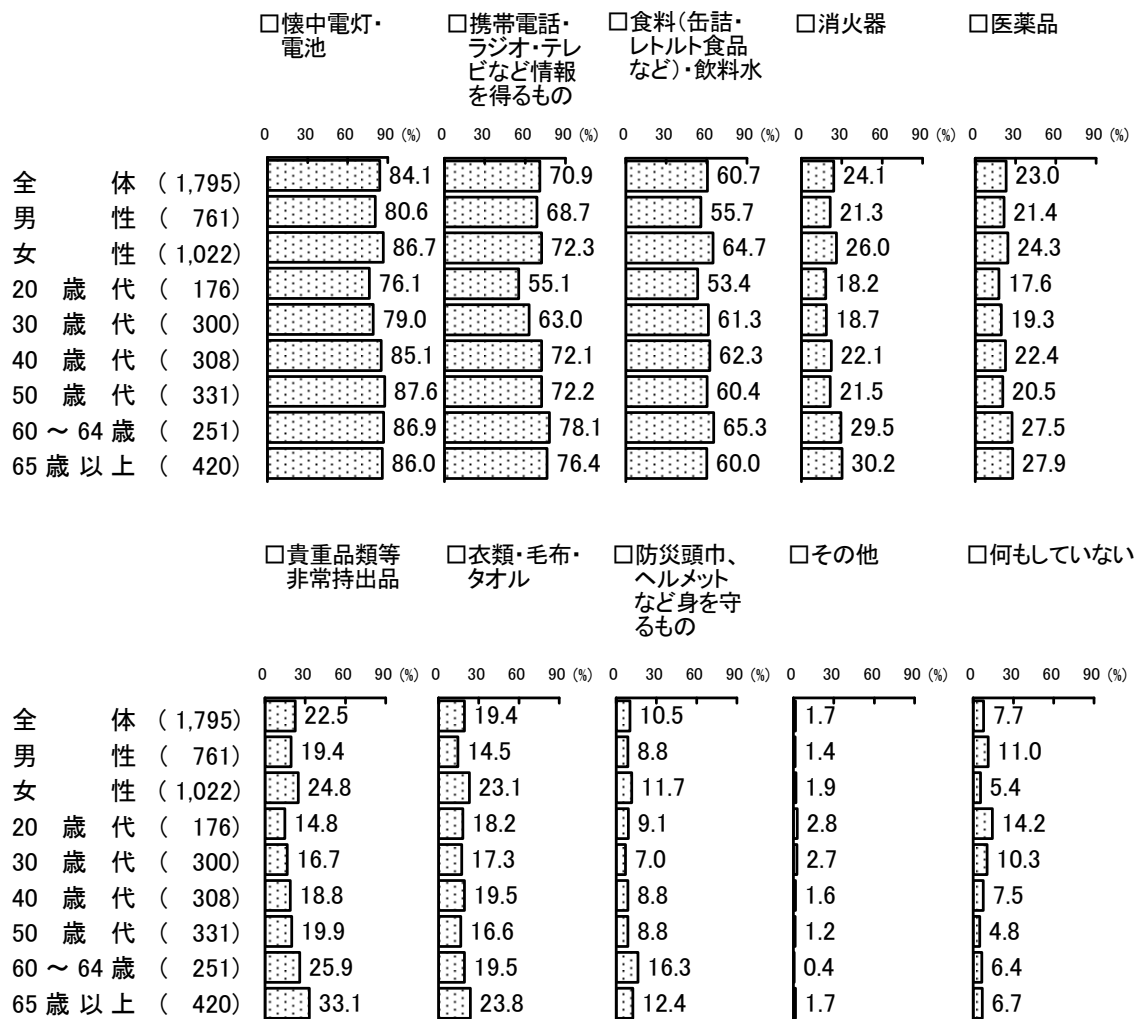
問28 あなたの家庭では、大地震等の災害に備えどのようなものを準備していますか。
(〇はいくつでも)

図6-9-1



大地震等の災害に備えた準備について聞いたところ、「懐中電灯・電池」が8割台半ば(84.1%)と最も高く、ついで「携帯電話・ラジオ・テレビなど情報を得るもの」(70.9%)、「食料(缶詰・レトルト食品など)・飲料水」(60.7%)、「消火器」(24.1%)、「医薬品」(23.0%)、「貴重品類等非常持出品」(22.5%)の順で続いている。(図6-9-1)

図6-9-2 災害に対する準備—性別・年齢別



性別にみると、「食料（缶詰・レトルト食品など）・飲料水」の9.0ポイントをはじめ、いずれも女性の方が高くなっている。

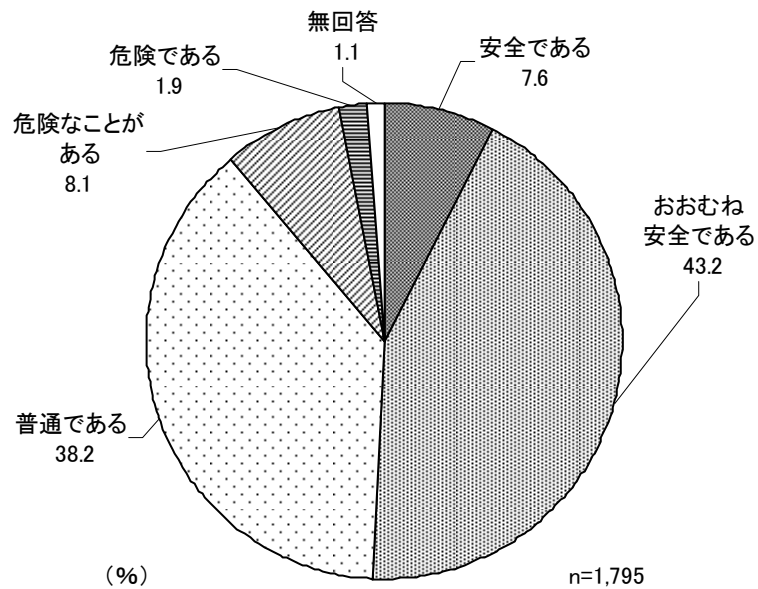
年齢別にみると、「懐中電灯・電池」はどの年齢も7割を超えて高くなっている。「携帯電話・ラジオ・テレビなど情報を得るもの」は40歳以上では7割を超え、「食料（缶詰・レトルト食品など）・飲料水」は30歳代以上では6割以上で準備されている。概ねどの準備も年齢が高くなるほど割合が増加する傾向にあるのに対して、「何もしていない」は年齢が低くなるほど割合が増加する傾向にある。（図6-9-2）

6-10 日常生活環境の安全度

◇『安全である』がほぼ5割

問 29 あなたは、あなたのお住まいの地域が安全であると感じますか。(○は1つだけ)

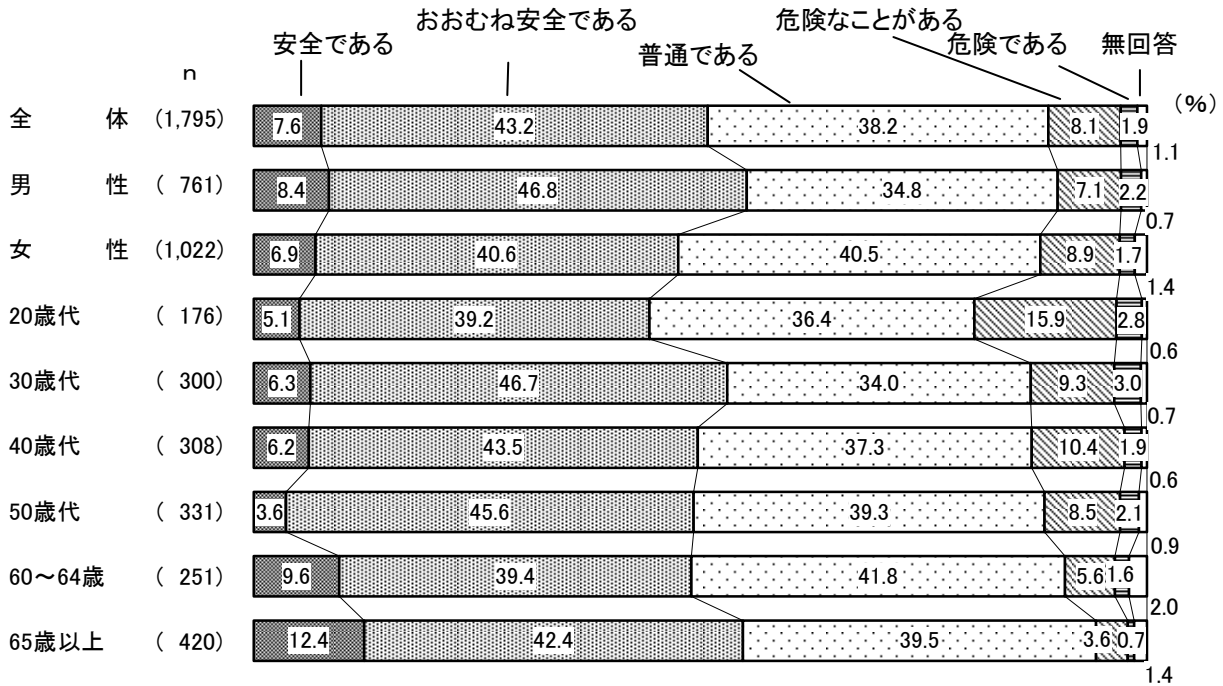
図6-10-1



お住まいの地域が安全であると感じるかどうか聞いたところ、「おおむね安全である」が4割強（43.2%）と最も高く、「安全である」（7.6%）を合わせた『安全である』はほぼ5割（50.8%）となっている。一方、「危険なことがある」（8.1%）と「危険である」（1.9%）を合わせた『危険である』は1割（10.0%）となっている。

（図6-10-1）

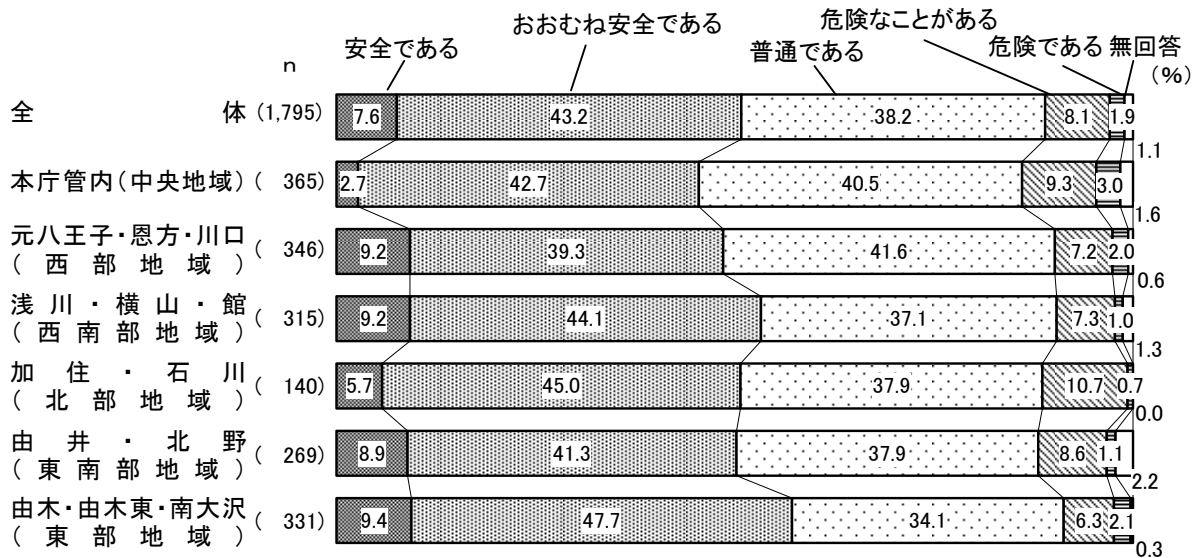
図6-10-2 日常生活環境の安全度－性別・年齢別



性別にみると、『安全である』は男性のほうが7.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『危険である』は20歳代で2割弱（18.7%）と最も高く、60歳以上では1割にも満たず低くなっている。（図6-10-2）

図6-10-3 日常生活環境の安全度－居住地域別



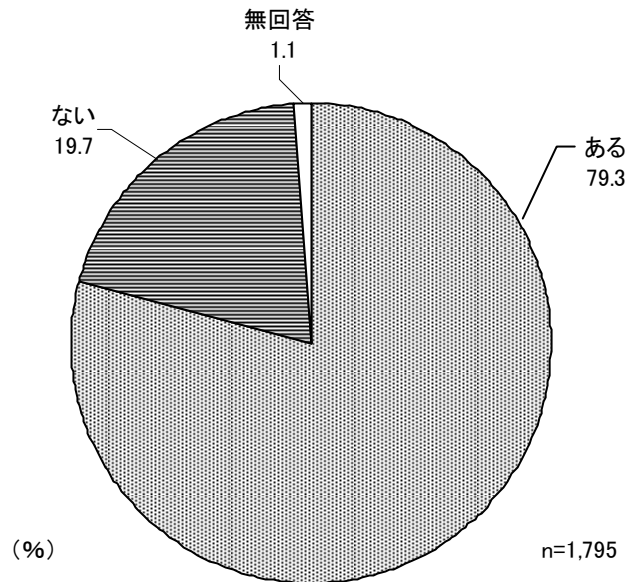
居住地域別にみると、『安全である』は由木・由木東・南大沢（東部地域）で6割弱（57.1%）と最も高く、本庁管内（中央地域）で4割台半ば（45.4%）と最も低くなっている。（図6-10-3）

6-11 市の窓口の利用の有無

◇利用したことが「ある」人は大多数のほぼ8割

問 30 あなたは、この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことはありますか。(○は1つだけ)

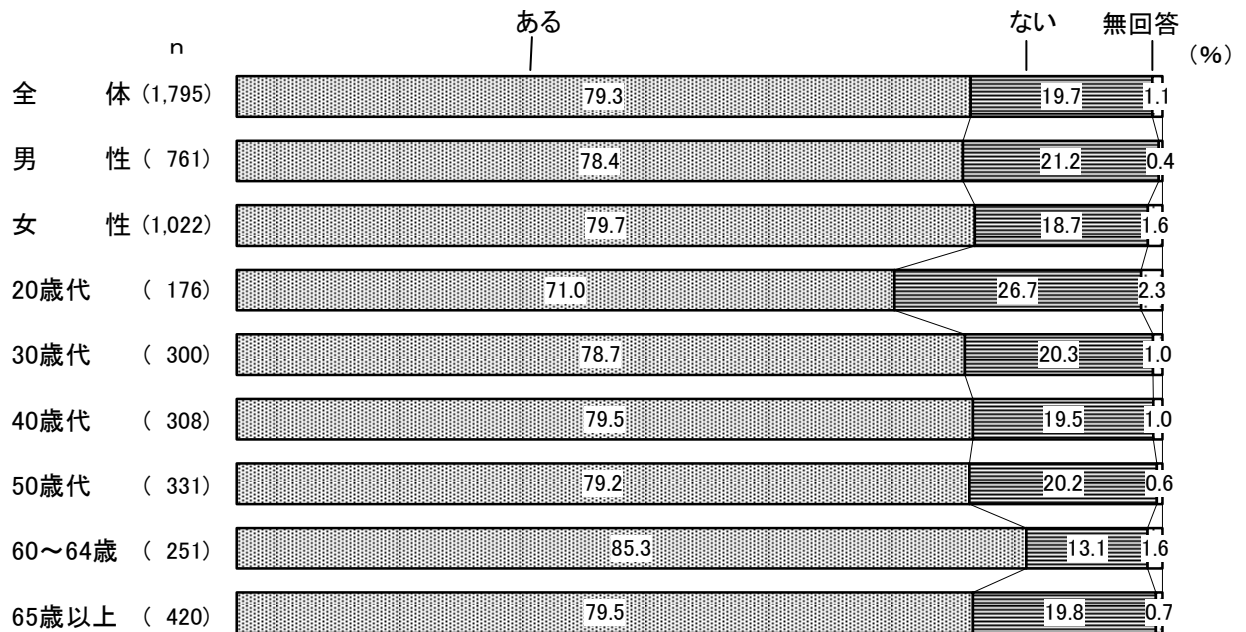
図 6-11-1



この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことがあるか聞いたところ、「ある」が大多数のほぼ8割（79.3%）を占め、「ない」はほぼ2割（19.7%）となっている。

（図 6-11-1）

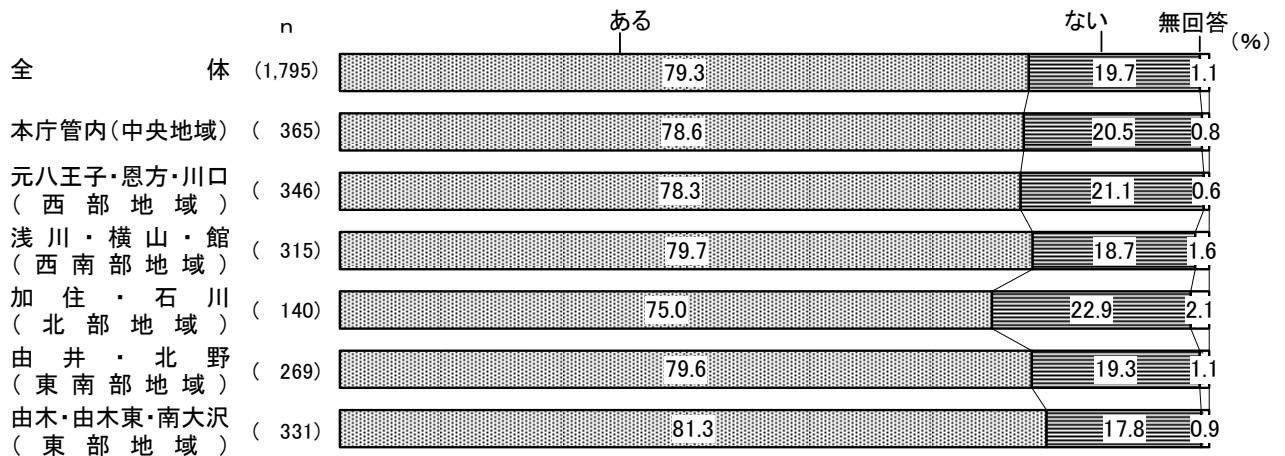
図6-11-2 市の窓口の利用の有無－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、「ない」は20歳代で3割弱（26.7%）とやや高くなっている。（図6-11-2）

図6-11-3 市の窓口の利用の有無－居住地域別



居住地域別にみると、「ある」はいずれの地域も7割を超えているものの、加住・石川（北部地域）は7割台半ば（75.0%）とやや低くなっている。（図6-11-3）

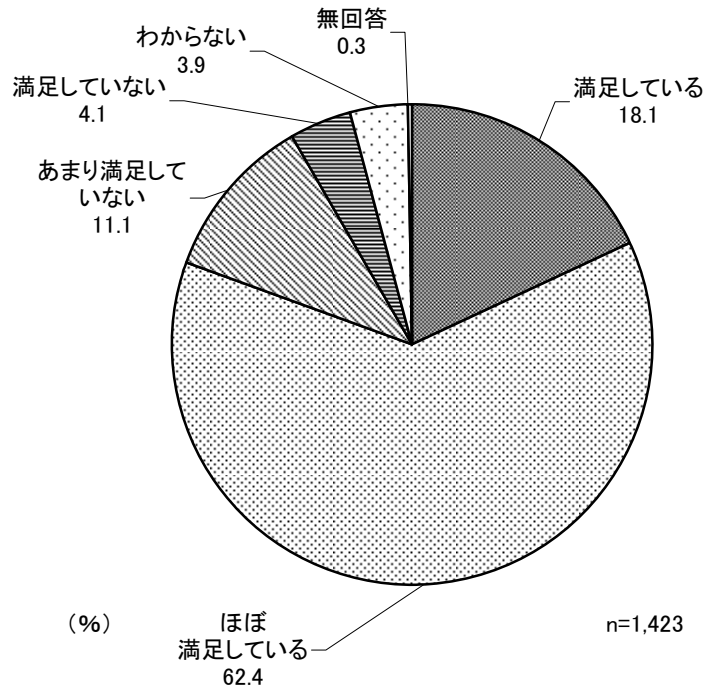
6-12 市の窓口サービスの満足度

◇『満足』がほぼ8割

(問30で「ある」とお答えの方に)

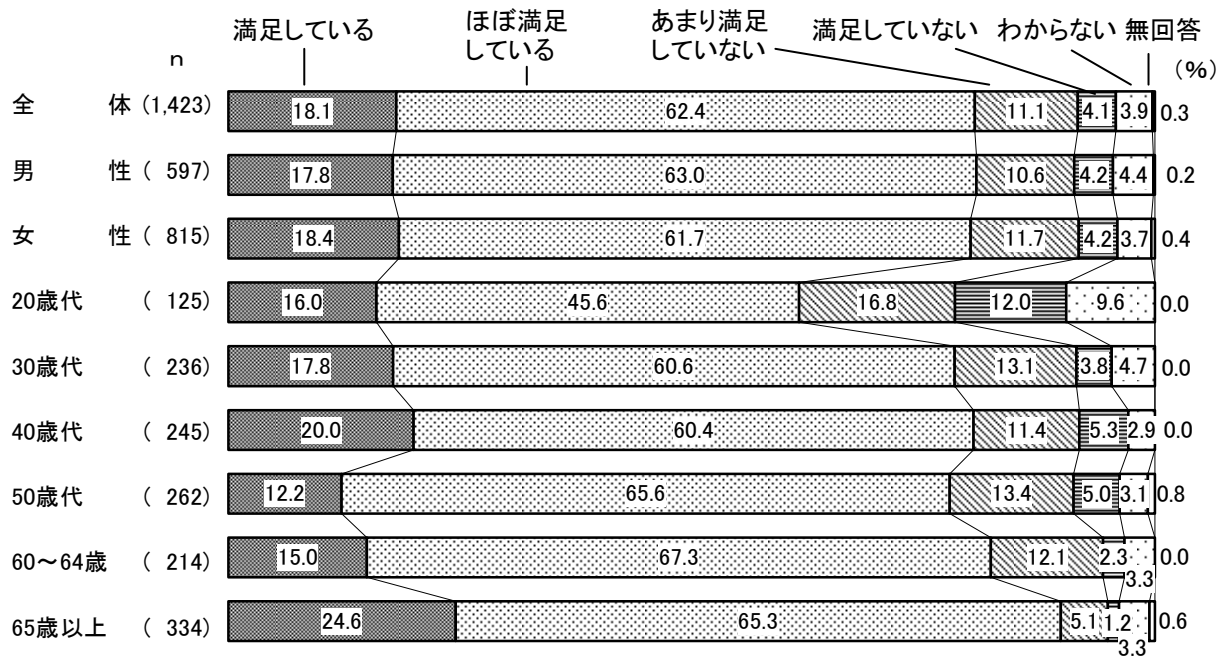
問30-1 あなたは、市の窓口サービス（接客度や提供内容、処理時間など）に満足していますか。
(○は1つだけ)

図6-12-1



この1年間で市の窓口の利用が「ある」と答えた人（1,423人）に、市の窓口サービスの満足度について聞いたところ、「ほぼ満足している」が6割強（62.4%）と最も高く、「満足している」（18.1%）と合わせた『満足』はほぼ8割（80.5%）となっている。「あまり満足していない」（11.1%）と「満足していない」（4.1%）を合わせた『不満』は1割台半ば（15.2%）となっている。（図6-12-1）

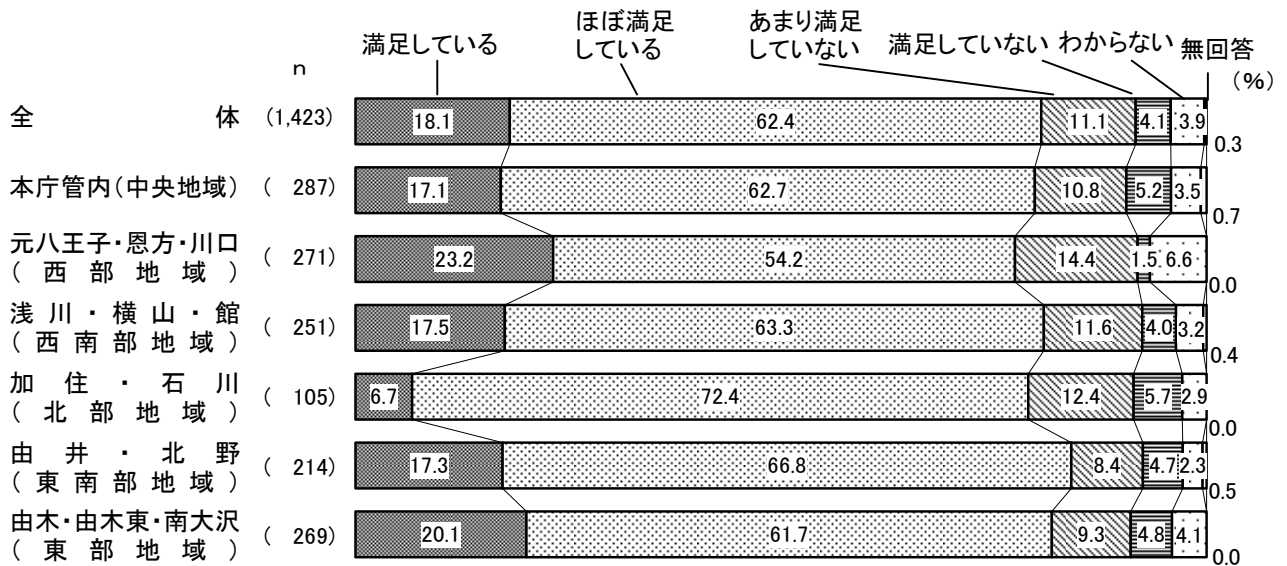
図6-12-2 市の窓口サービスの満足度－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、『満足』は65歳以上でほぼ9割（89.9%）と高くなっている。一方、『不満』は20歳代で3割弱（28.8%）と高くなっている。（図6-12-2）

図6-12-3 市の窓口サービスの満足度－居住地域別



居住地域別にみると、『満足』は由井・北野（東南部地域）で8割台半ば（84.1%）と最も高くなっている。

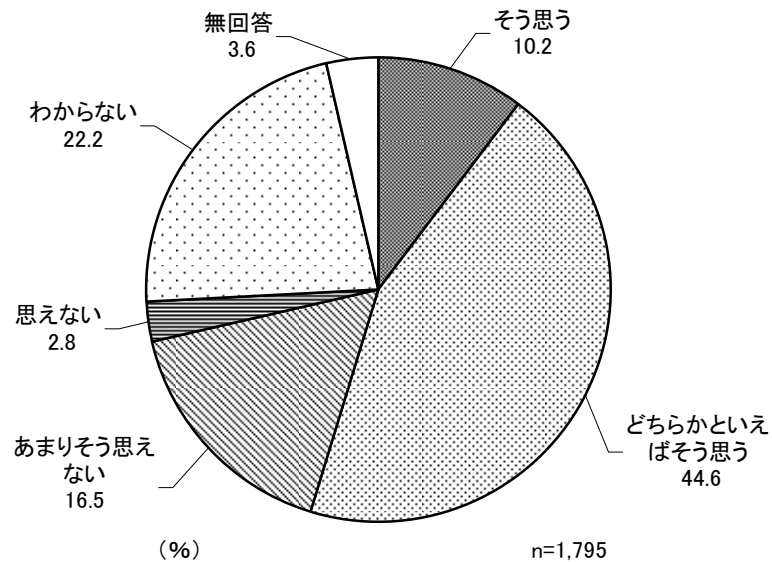
（図6-12-3）

6-13 市の相談窓口の充実度

◇『そう思う』が5割台半ば

問31 市では、市民生活を支援するため、下記のような様々な暮らしの相談を行っています。あなたは、市の相談の機会が充実していると思いますか。(○は1つだけ)

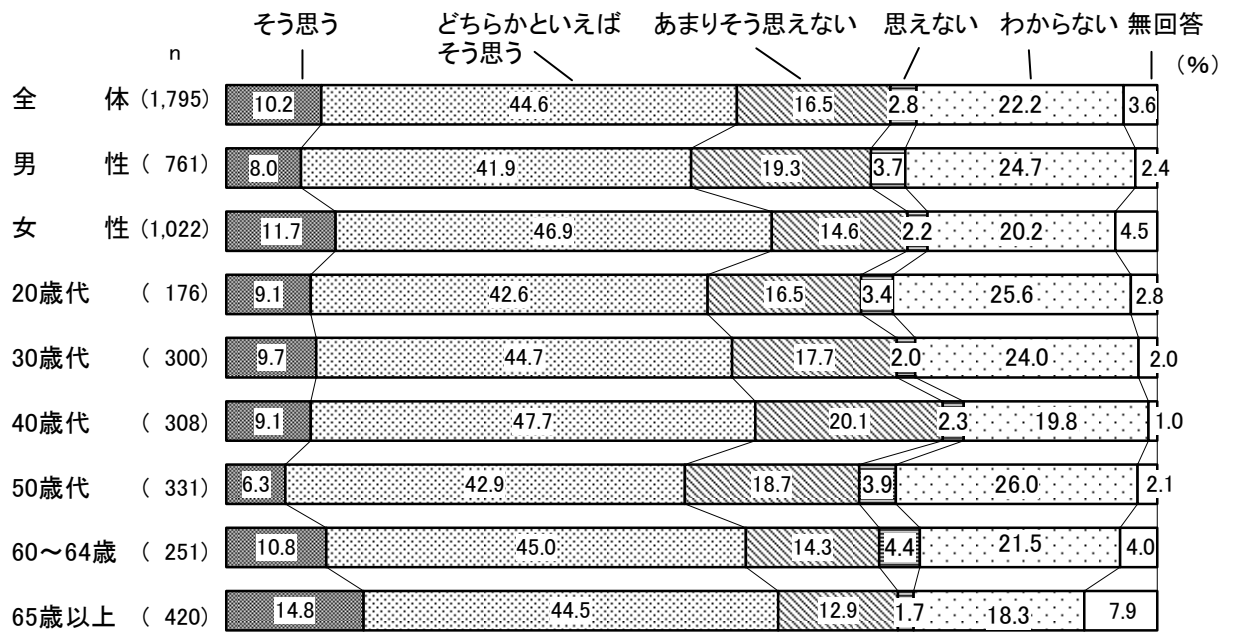
図6-13-1



市の相談窓口が充実しているかどうか聞いたところ、「どちらかといえばそう思う」(44.6%)と「そう思う」(10.2%)を合わせた『そう思う』は5割台半ば(54.8%)となっている。一方、「あまりそう思えない」(16.5%)と「思えない」(2.8%)を合わせた『思えない』はほぼ2割(19.3%)となっている。

(図6-13-1)

図6-13-2 市の相談窓口の充実度－性別・年齢別

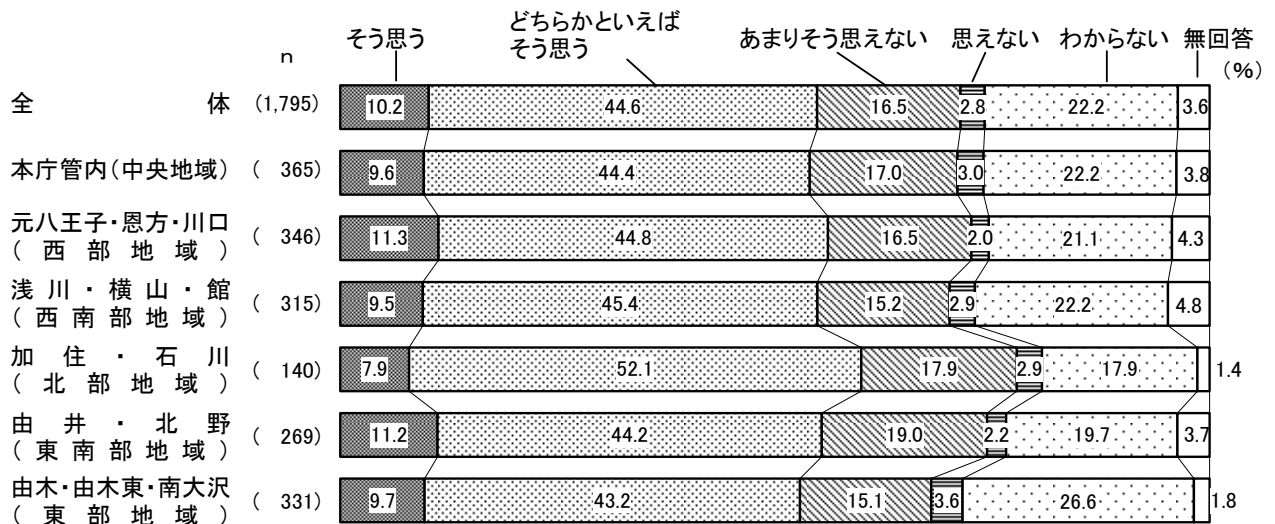


性別にみると、『そう思う』は女性のほうが8.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『そう思う』は65歳以上ではほぼ6割（59.3%）と最も高くなっている。

(図6-13-2)

図6-13-3 市の相談窓口の充実度－居住地域別



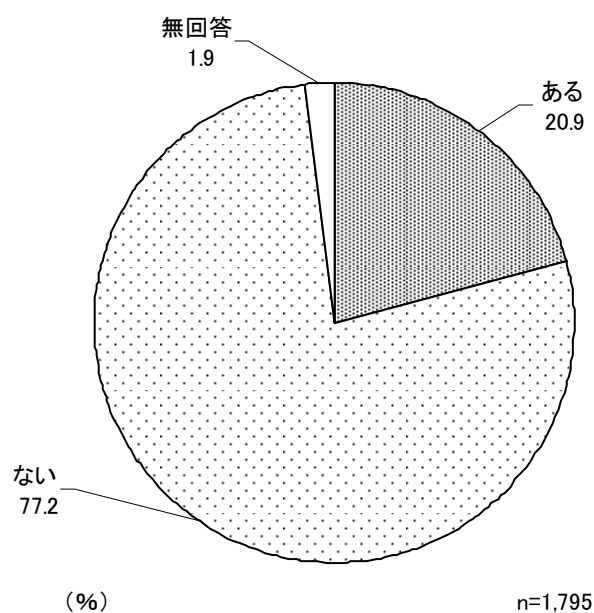
居住地域別にみると、『そう思う』は加住・石川（北部地域）で6割（60.0%）と他の地域に比べて高くなっている。(図6-13-3)

6-14 市の相談窓口の利用の有無

◇利用したことが「ある」人はほぼ2割

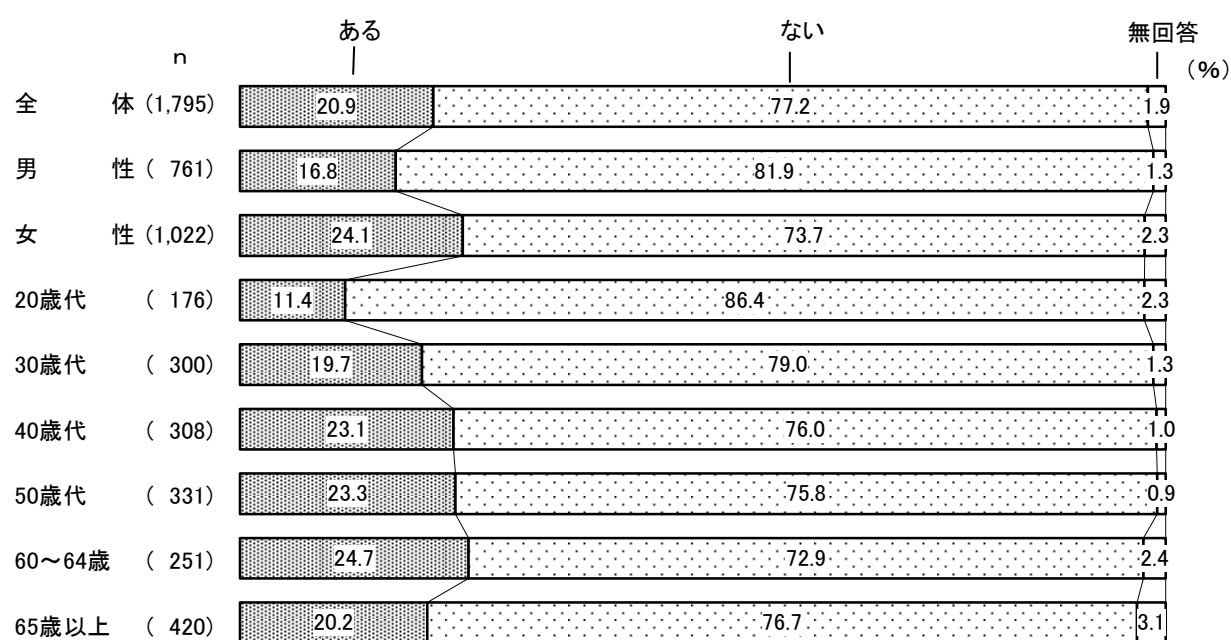
問32 あなたは、上記のような市の暮らしの相談窓口を利用したことがありますか。(○は1つだけ)

図6-14-1



市の相談窓口を利用したことがあるか聞いたところ、「ない」が8割弱（77.2%）を占め、「ある」はほぼ2割（20.9%）となっている。（図6-14-1）

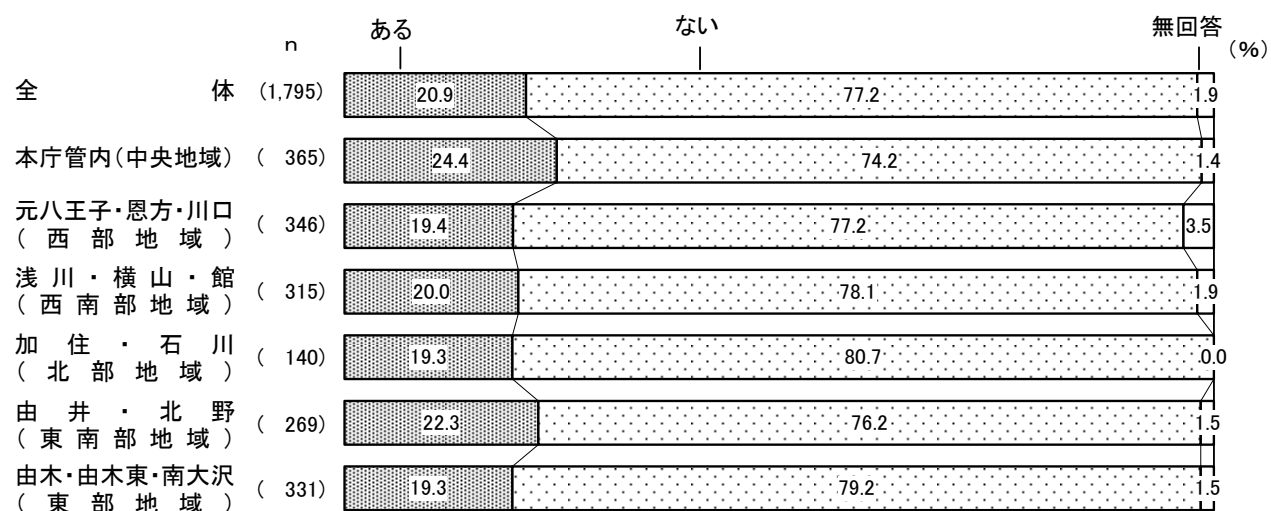
図6-14-2 市の相談窓口の利用の有無－性別・年齢別



性別にみると、「ある」は女性のほうが7.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「ある」は20歳代で1割強（11.4%）と低くなっている。（図6-14-2）

図6-14-3 市の相談窓口の利用の有無－居住地域別



居住地域別にみると、「ある」は本庁管内（中央地域）で2割台半ば（24.4%）と他の地域と比べてやや高くなっている。（図6-14-3）

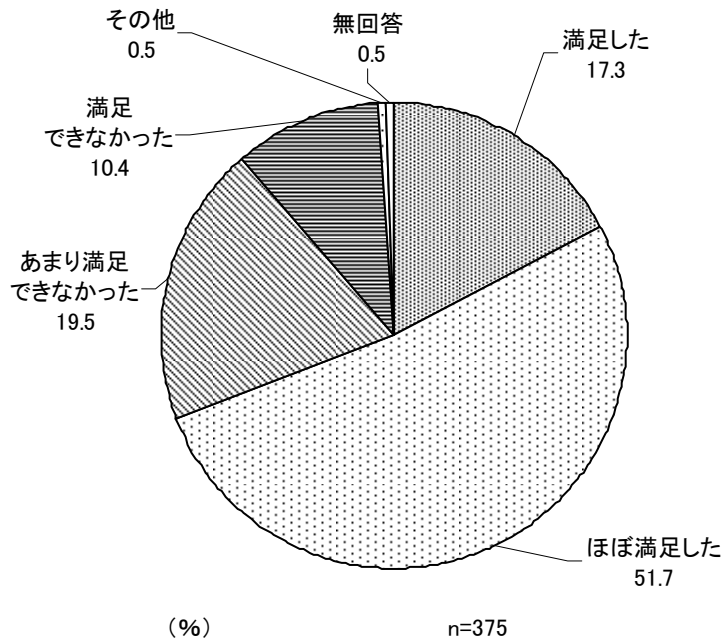
6-15 市の相談窓口の満足度

◇『満足した』がほぼ7割

(問32で「ある」とお答えの方に)

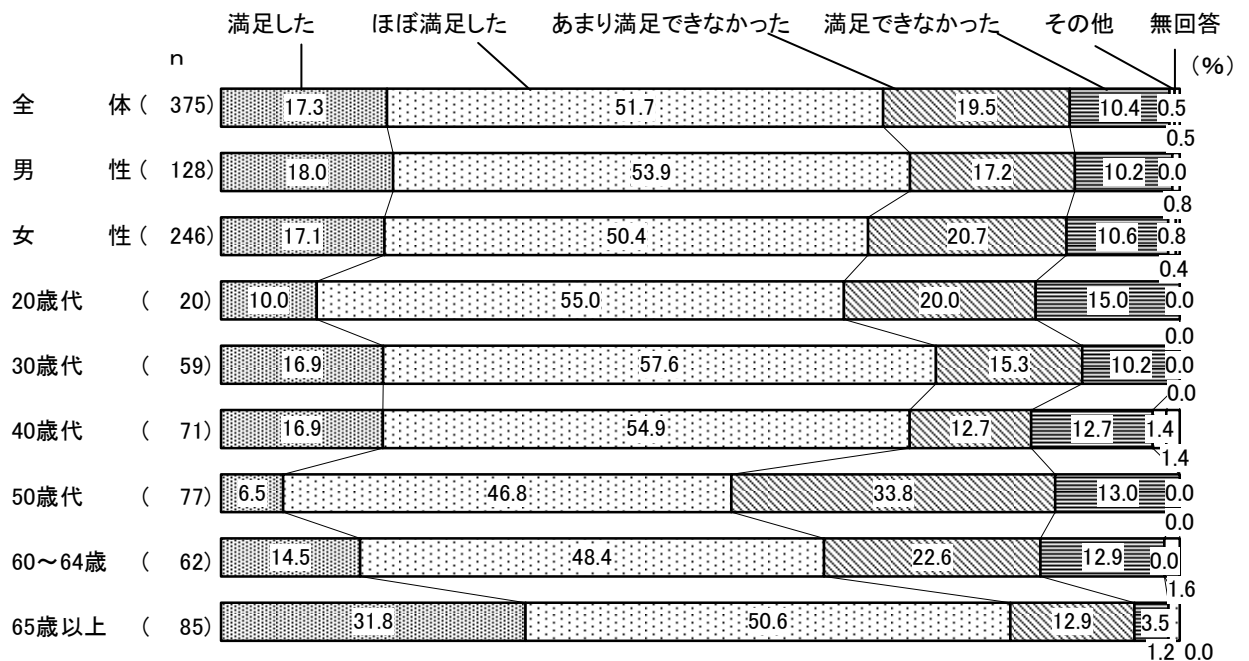
問32-1 市の暮らしの相談窓口を利用してどう感じましたか。(○は1つだけ)

図6-15-1



市の相談窓口の利用で「ある」と答えた人(375人)に、市の暮らしの相談窓口を利用してどう感じたか聞いたところ、「ほぼ満足した」が5割強(51.7%)と最も高く、「満足した」(17.3%)と合わせた『満足した』はほぼ7割(69.0%)となっている。一方、「あまり満足できなかった」(19.5%)と「満足できなかった」(10.4%)を合わせた『満足できなかった』はほぼ3割(29.9%)となっている。(図6-15-1)

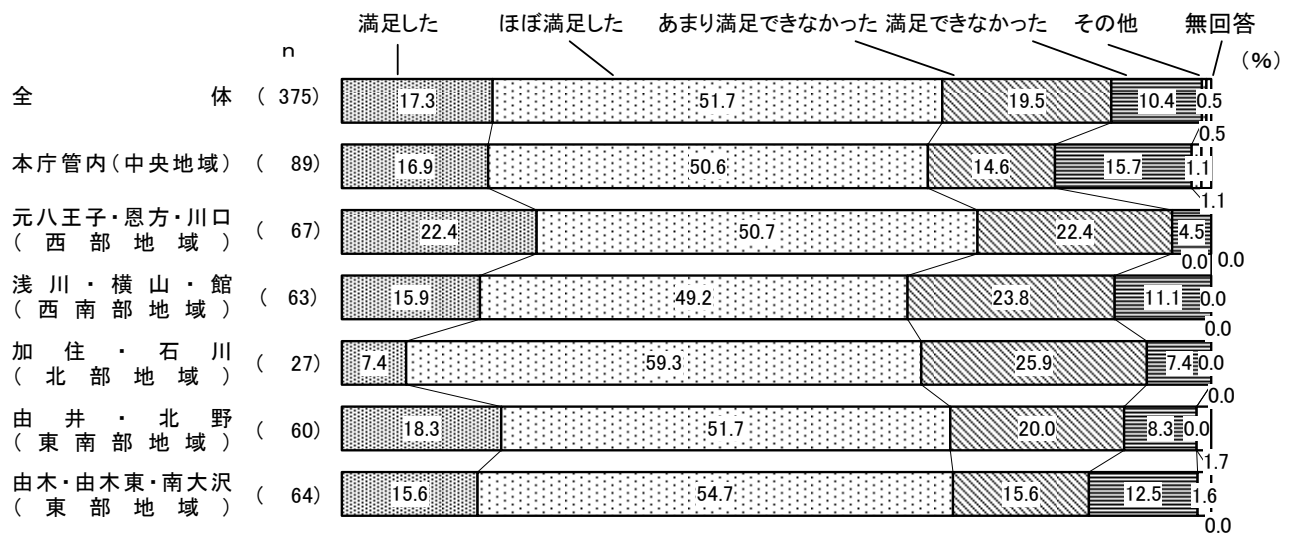
図 6-15-2 市の相談窓口の満足度－性別・年齢別



性別にみると、『満足した』は男性のほうが4.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『満足した』は65歳以上で8割強（82.4%）と高くなっている。（図 6-15-2）

図 6-15-3 市の相談窓口の満足度－居住地域別



居住地域別にみると、『満足した』は元八王子・恩方・川口で7割強（73.1%）とやや高くなっている。

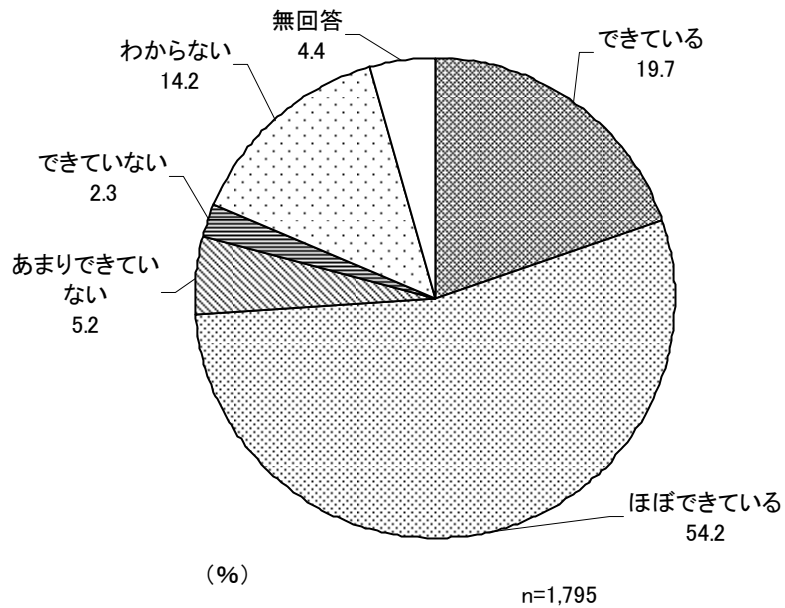
（図 6-15-3）

6-16 市政情報の入手しやすさ

◇『できている』が7割強

問33 市は、市政の情報を、下記のような様々な方法で積極的に配信・提供していますが、あなたは、いずれかの方法で必要な市政情報を入手できていますか。(○は1つだけ)

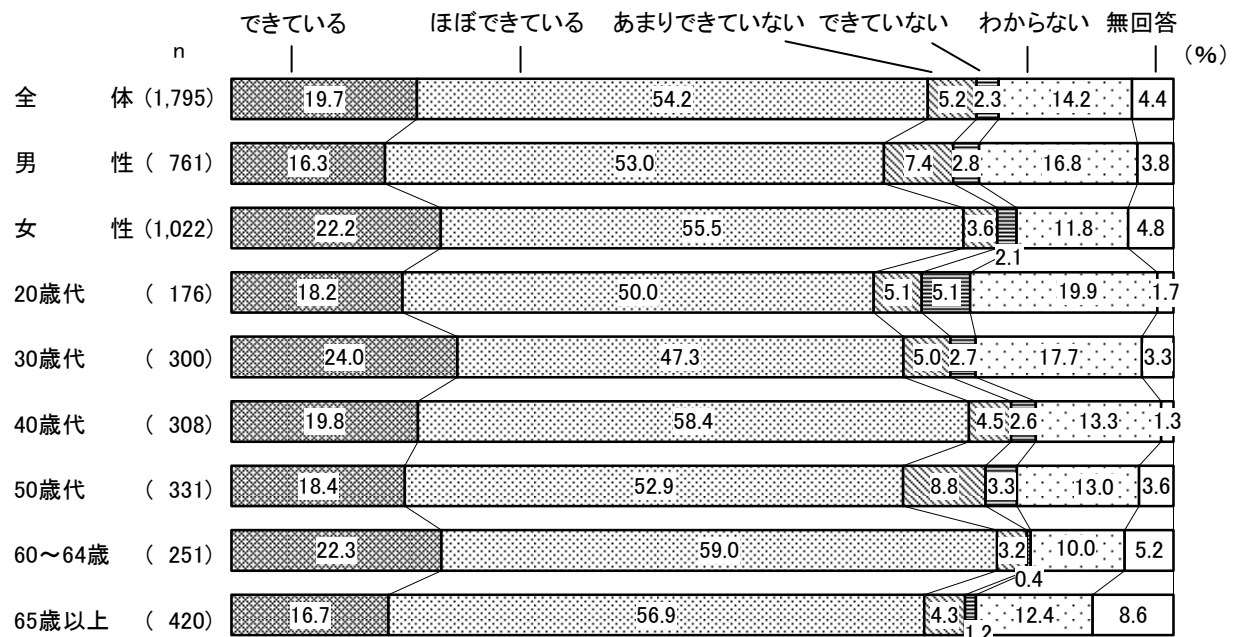
図6-16-1



市政情報の入手しやすさについて聞いたところ、「ほぼできている」は5割台半ば（54.2%）と最も高く、「できている」（19.7%）と合わせた『できている』は7割強（73.9%）となっている。一方、「あまりできていない」（5.2%）と「できていない」（2.3%）を合わせた『できていない』は、1割弱（7.5%）となっている。

（図6-16-1）

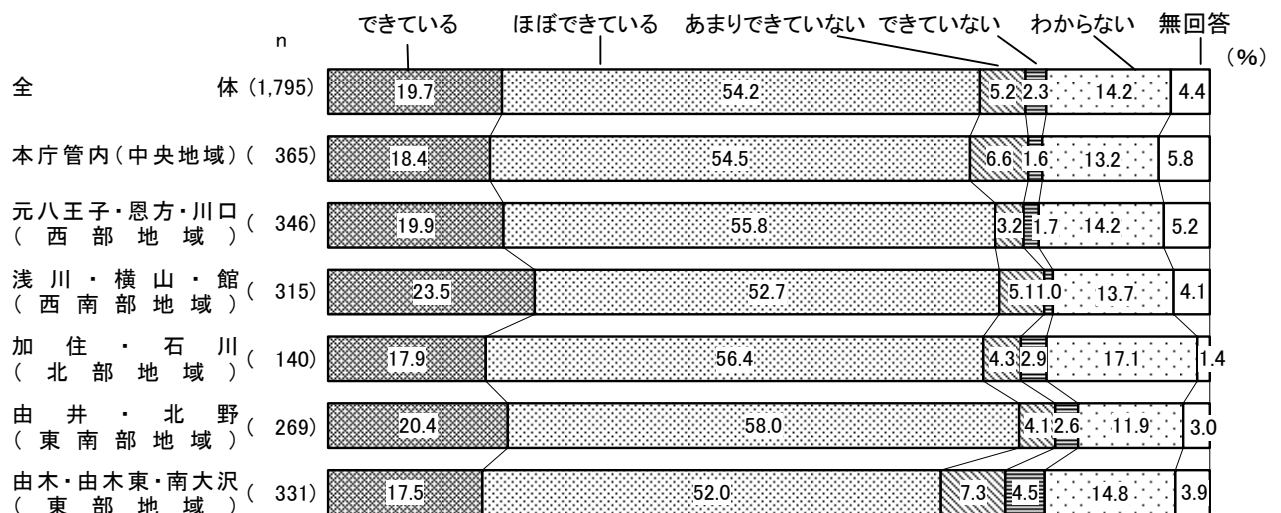
図6-16-2 市政情報の入手しやすさ－性別・年齢別



性別にみると、『できている』は女性のほうが8.4ポイント高い。

年齢別にみると、『できている』は60～64歳で8割強（81.3%）と高くなっている。（図6-16-2）

図6-16-3 市政情報の入手しやすさ－居住地域別



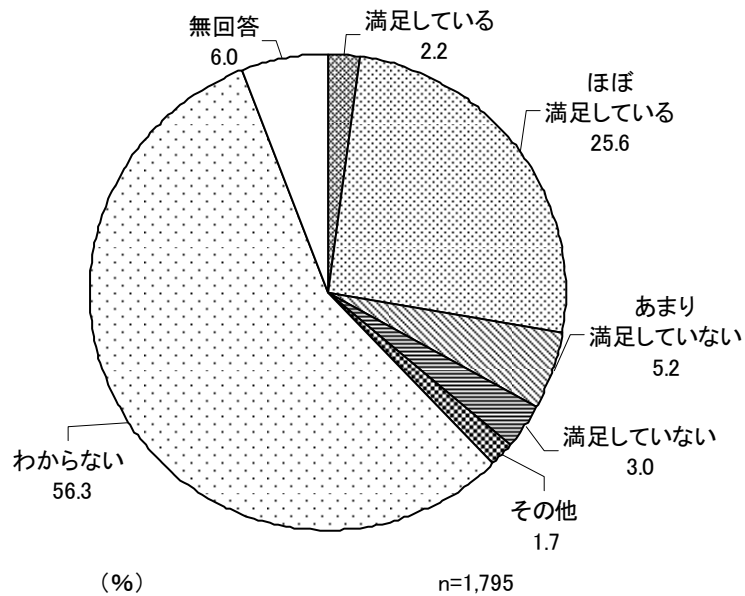
居住地域別にみると、『できていない』は由木・東由木・南大沢で1割強（11.8%）とやや高くなっている。（図6-16-3）

6-17 市の子育て支援策の満足度

◇『満足』が3割弱

問34 あなたは、市が行っている様々な子育て支援策について、日頃どのように感じていますか。
(○は1つだけ)

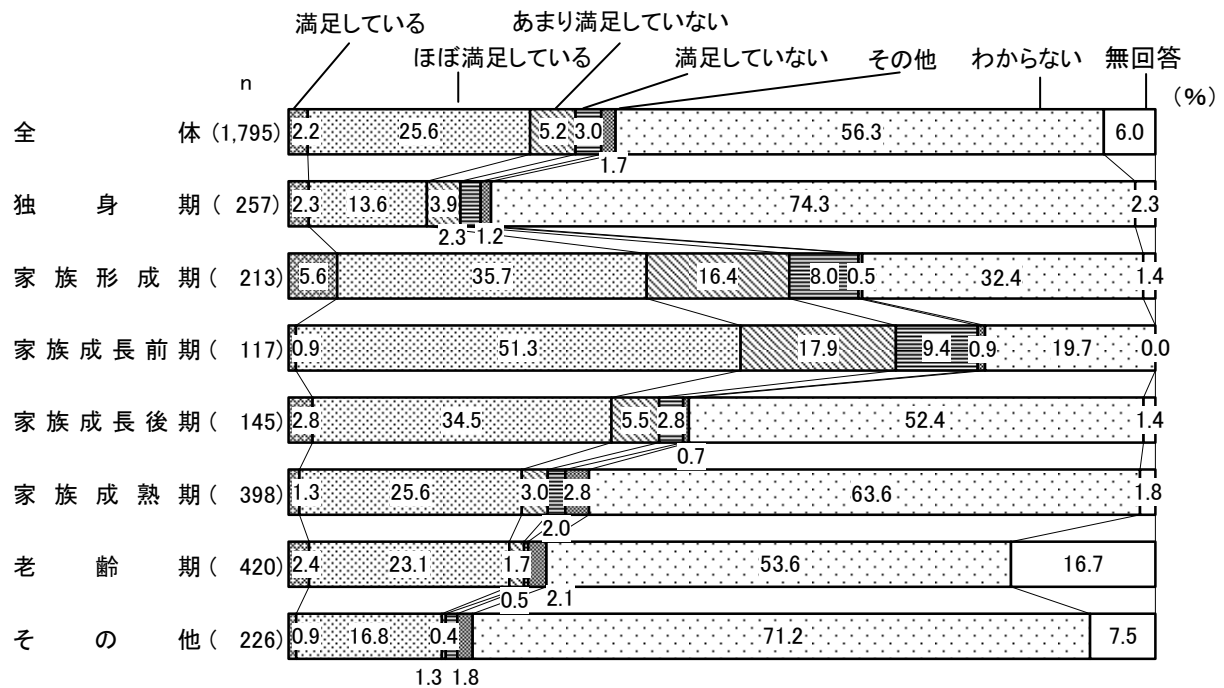
図6-17-1



市の子育て支援施策についてどのように感じているかについて聞いたところ、「満足している」(2.2%)と「ほぼ満足している」(25.6%)を合わせた『満足』は3割弱(27.8%)となっている。一方、「あまり満足していない」(5.2%)と「満足していない」(3.0%)を合わせた『不満』は1割弱(8.2%)となっている。

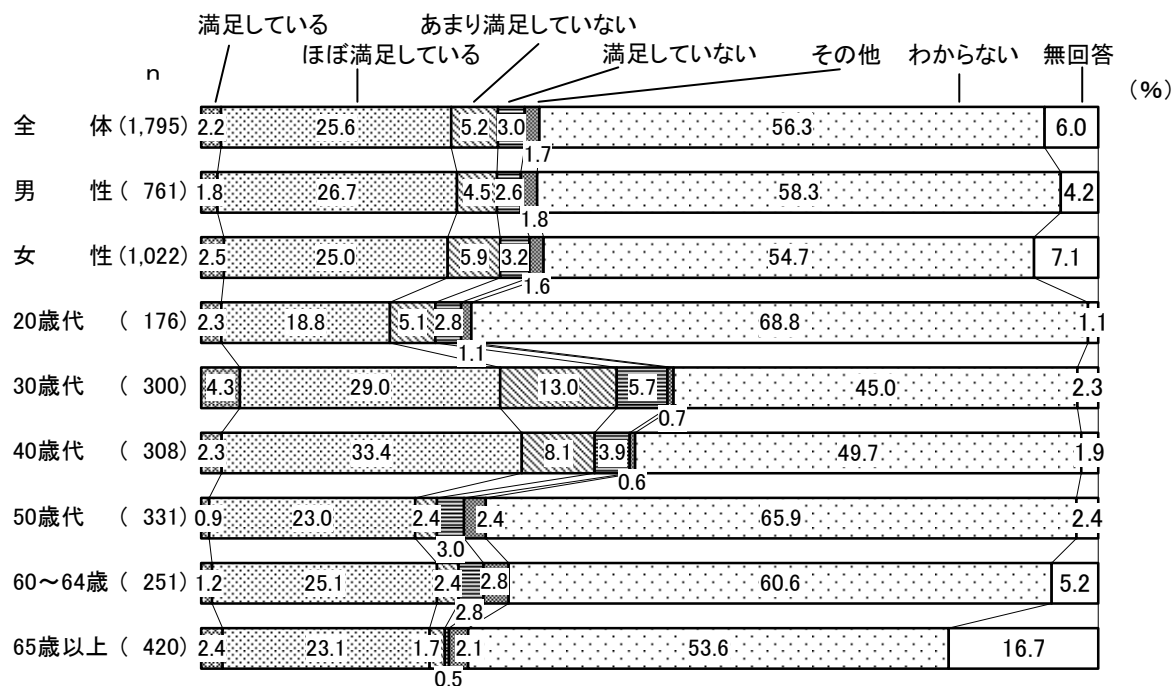
(図6-17-1)

図6-17-2 市の子育て支援施策の満足度－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、家族成長前期では『満足』(52.2%)のほうが『不満』(27.3%)より24.9ポイント高く、家族形成期では『満足』(41.3%)のほうが『不満』(24.4%)より16.9ポイント高くなっている。
(図6-17-2)

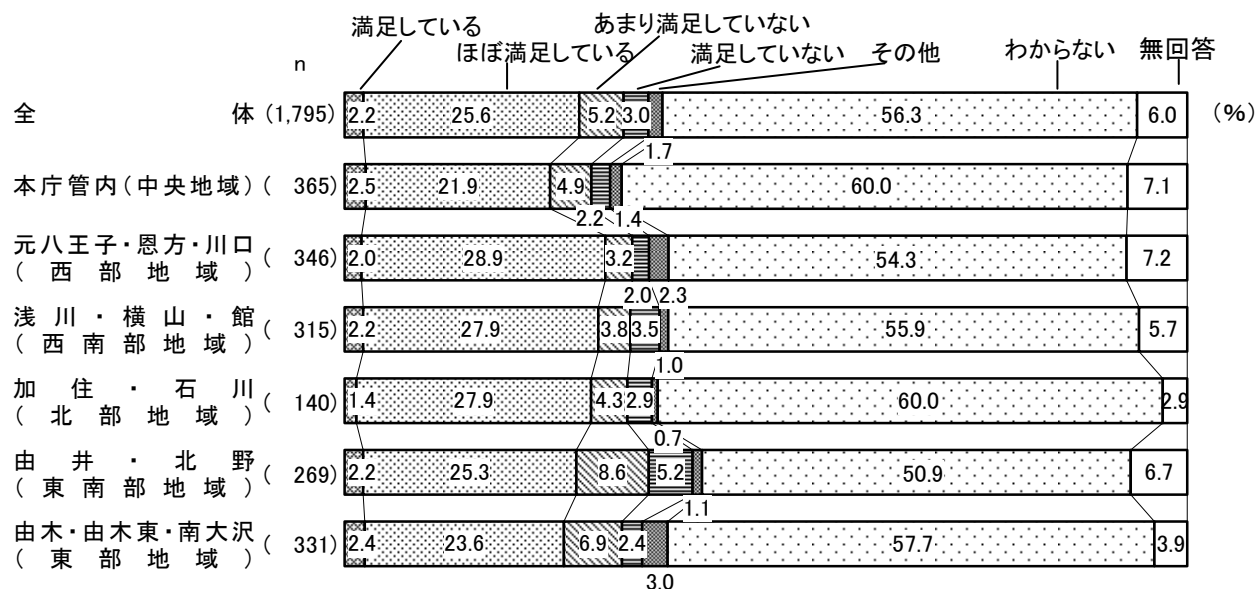
図6-17-3 市の子育て支援施策の満足度－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、30歳代では『満足』(33.3%)のほうが『不満』(18.7%)より14.6ポイント高く、40歳代では『満足』(35.7%)のほうが『不満』(12.0%)より23.7ポイント高くなっている。(図6-17-3)

図6-17-4 市の子育て支援施策の満足度－居住地域別



居住地域別にみると、『満足』は本庁管内(中央地域)で2割台半ば(24.4%)とやや低くなっている。

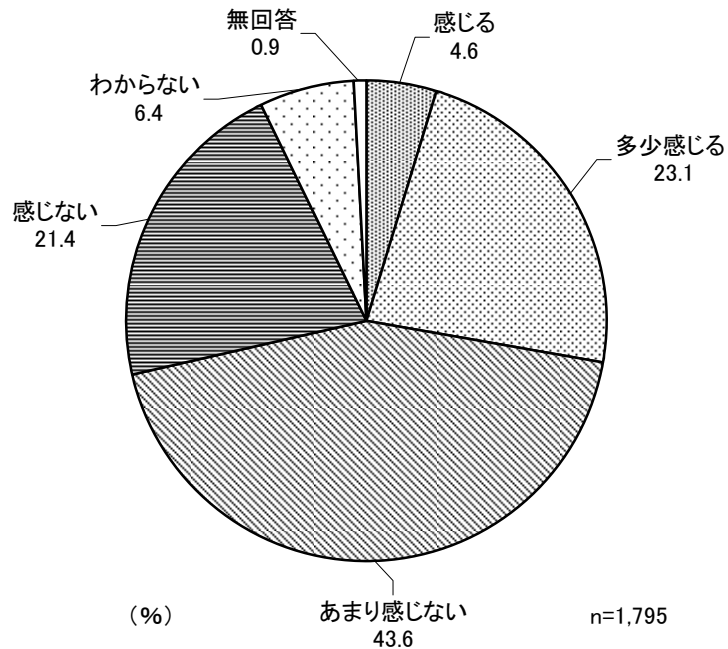
(図6-17-4)

6-18 市のにぎわいと活力の有無

◇『感じない』が6割台半ば

問35 あなたは、市がにぎわいと活力があるまちであると感じますか。(○は1つだけ)

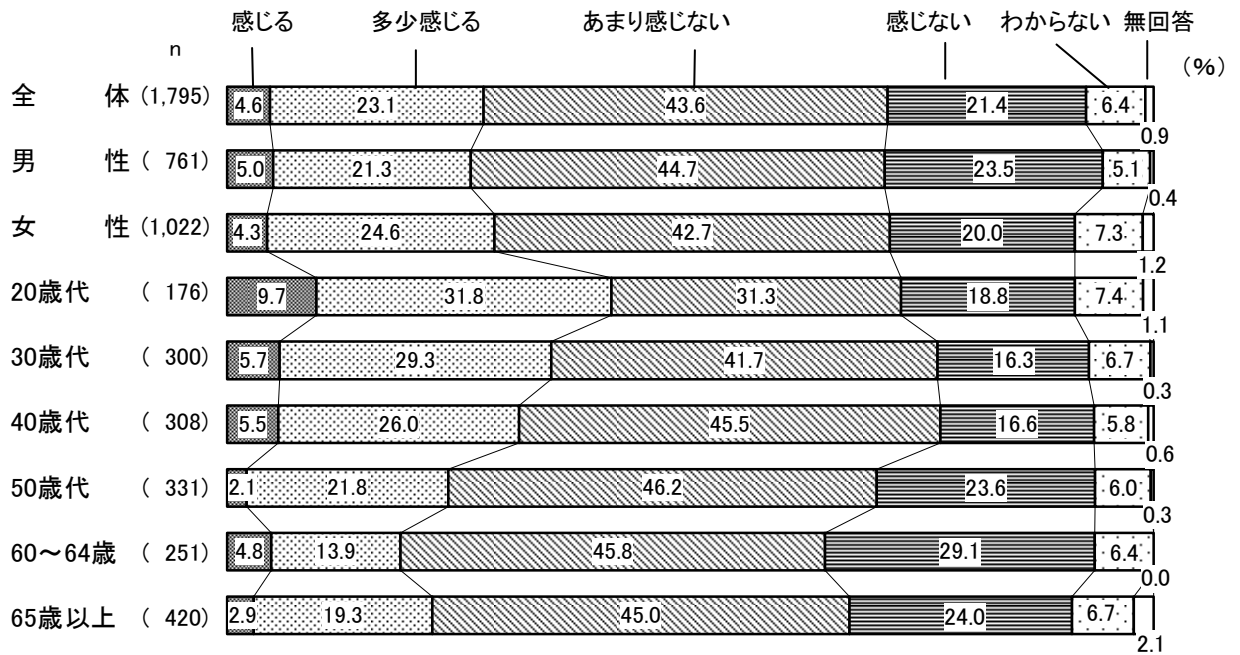
図6-18-1



八王子市がにぎわいと活力があるまちであると感じるか聞いたところ、「あまり感じない」が4割強(43.6%)と最も高く、「感じない」(21.4%)を合わせた『感じない』は6割台半ば(65.0%)となっている。「感じる」(4.6%)と「多少感じる」(23.1%)を合わせた『感じる』は3割弱(27.7%)となっている。

(図6-18-1)

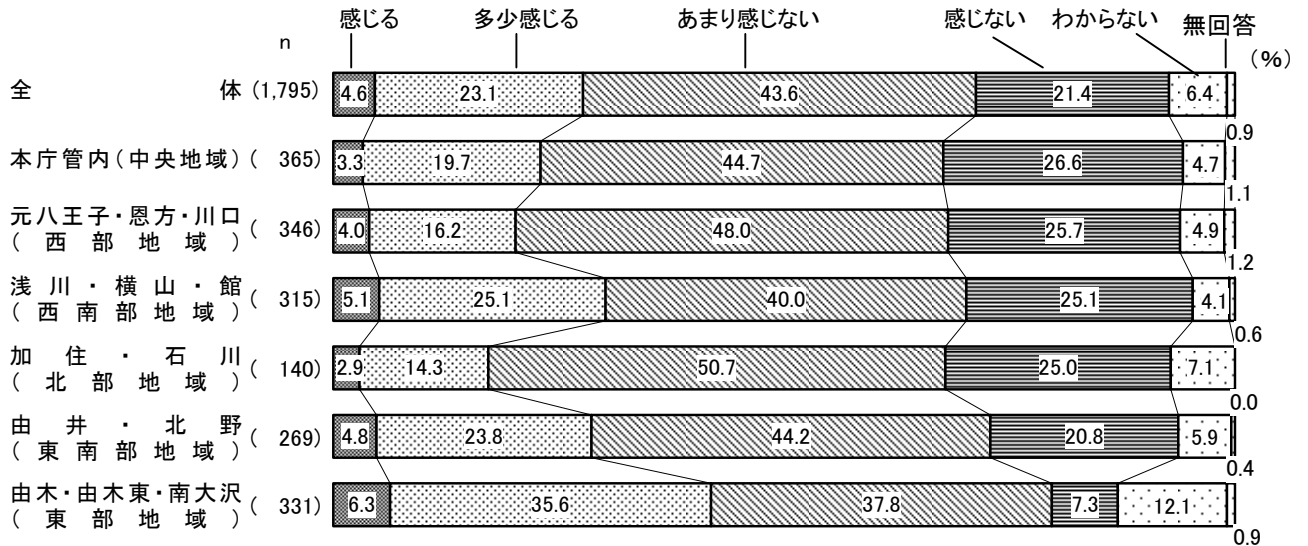
図6-18-2 市のにぎわいと活力の有無－性別・年齢別



性別にみると、『感じる』は男性のほうが5.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『感じる』は20歳代で4割強（41.5%）と高くなっている。（図6-18-2）

図6-18-3 市のにぎわいと活力の有無－居住地域別



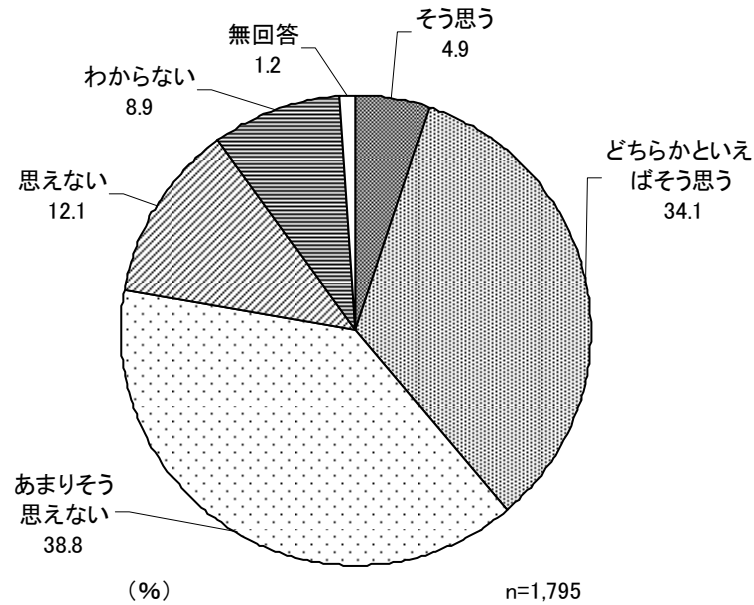
居住地域別にみると、『感じる』は由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割強（41.9%）と最も高く、一方で『感じない』は加住・石川（北部地域）で7割台半ば（75.7%）と最も高くなっている。（図6-18-3）

6-19 市は景観に配慮されたまちであるか

◇『思えない』がほぼ5割

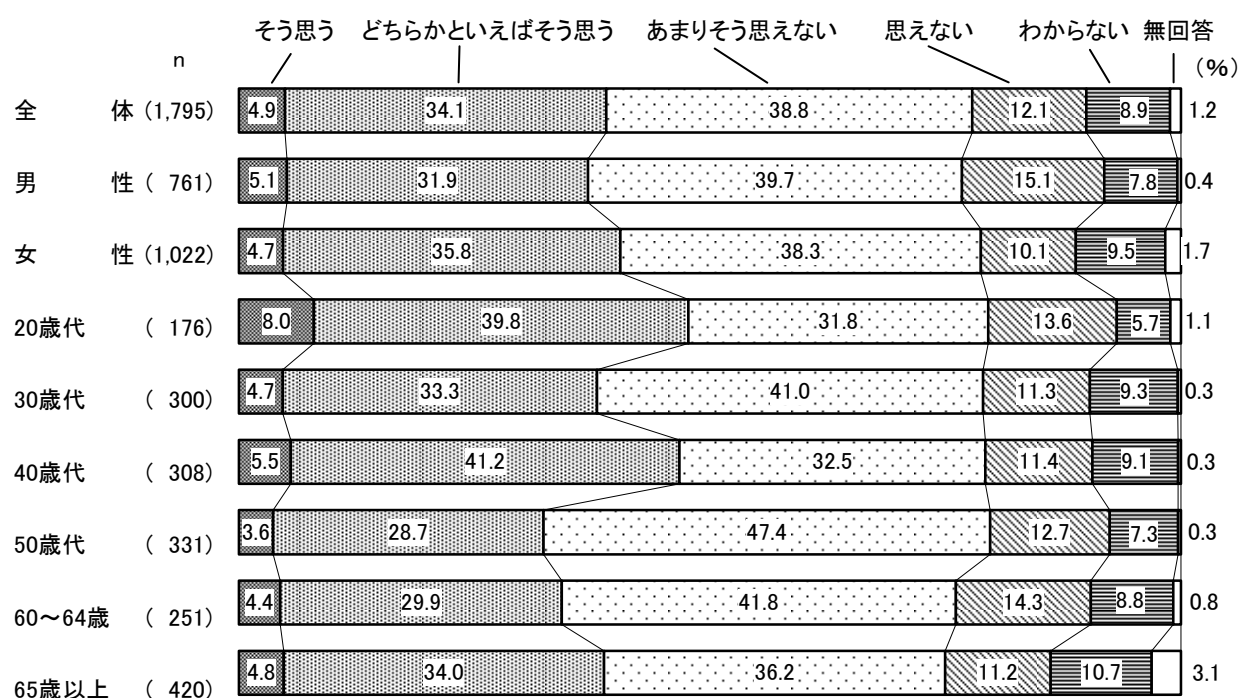
問36 あなたは、本市が景観に配慮されたまちであると思いますか。(○は1つだけ)

図6-19-1



市が景観に配慮されたまちであるかについて聞いたところ、「あまりそう思えない」が4割弱（38.8%）と最も高く、「思えない」（12.1%）と合わせた『思えない』はほぼ5割（50.9%）となっている。一方、「そう思う」（4.9%）と「どちらかといえばそう思う」（34.1%）を合わせた『そう思う』はほぼ4割（39.0%）となっている。（図6-19-1）

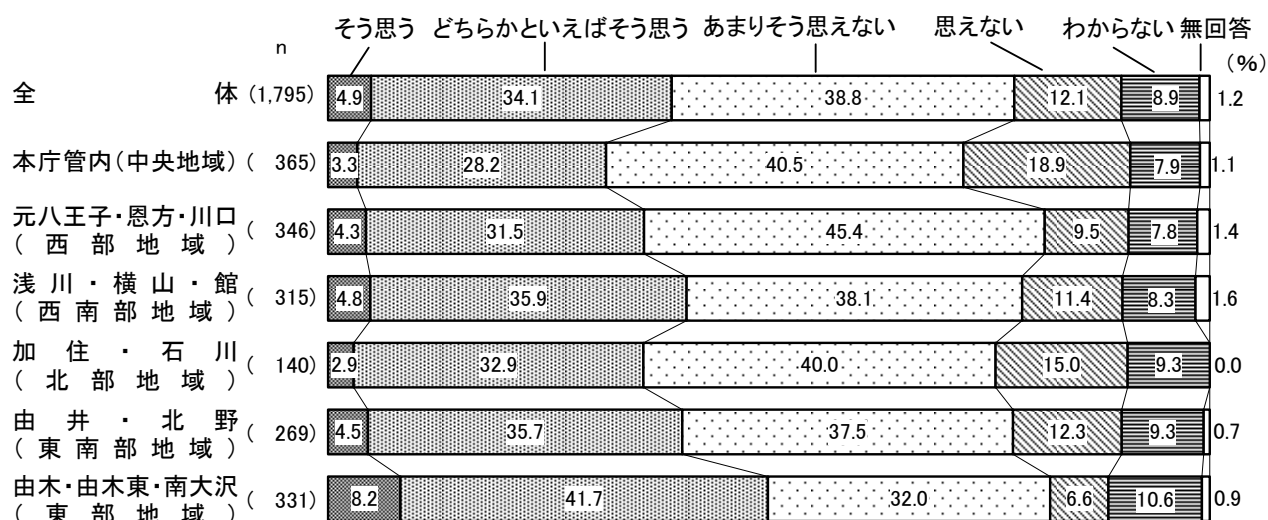
図6-19-2 市は景観に配慮されたまちであるかー性別・年齢別



性別にみると、『思えない』は男性のほうが6.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『思えない』は50歳代がほぼ6割（60.1%）と高く、『そう思う』は20歳代（47.8%）と40歳代（46.7%）が5割弱と高くなっている。（図6-19-2）

図6-19-3 市は景観に配慮されたまちであるかー居住地域別



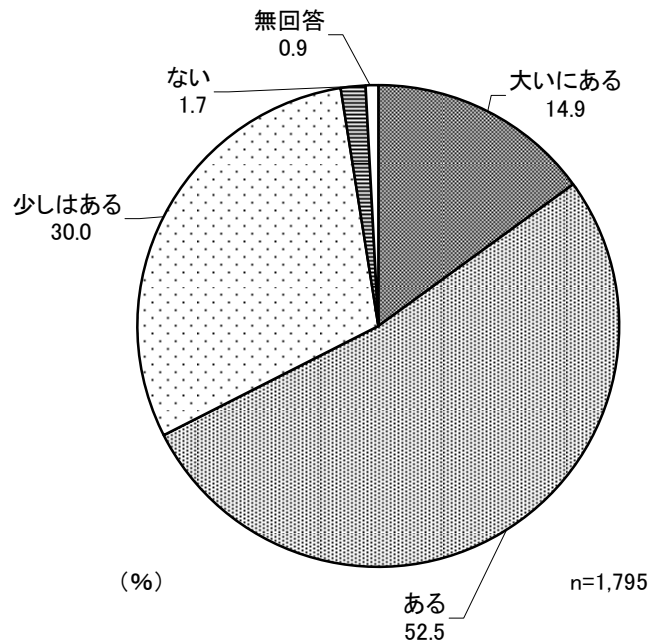
居住地域別にみると、『そう思う』は由木・由木東・南大沢（東部地域）でほぼ5割（49.9%）と高く、『思えない』は本庁管内（中央地域）でほぼ6割（59.4%）と高くなっている。（図6-19-3）

6-20 環境問題への関心度

◇『ある』が10割弱、「ない」はわずか1.7%

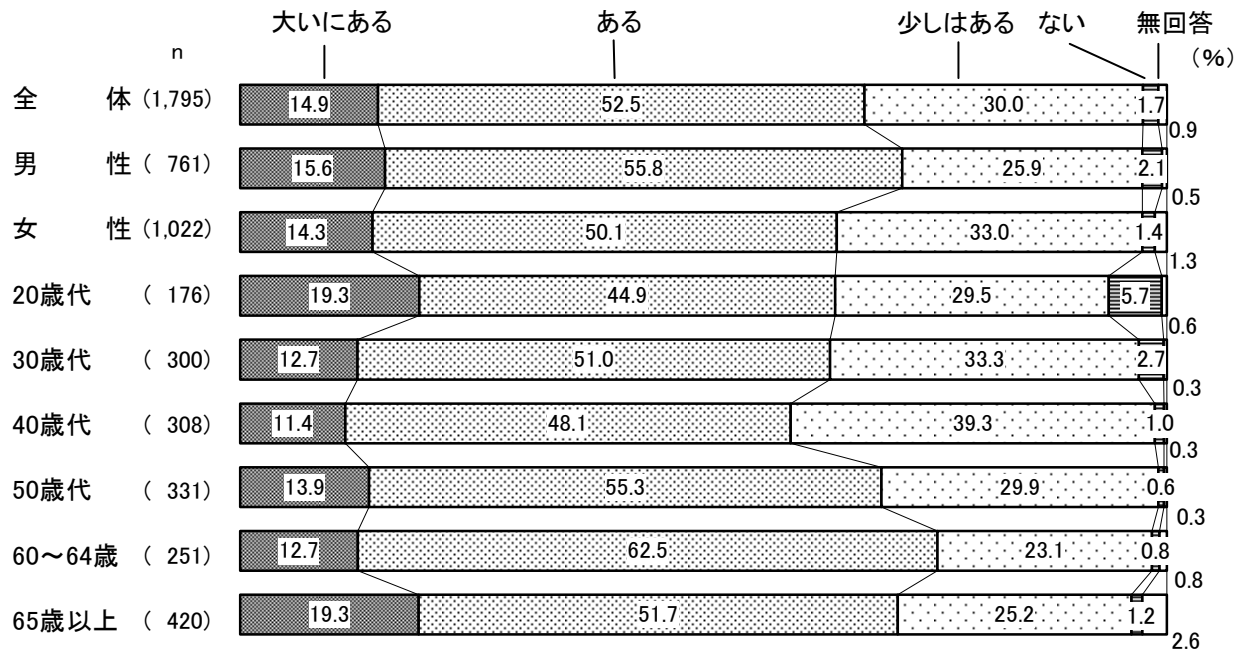
問37 あなたは、環境問題に関心はありますか。(○は1つだけ)

図6-20-1



環境問題に関心があるかどうかについて聞いたところ、「ある」が5割強 (52.5%)、「少しはある」が3割 (30.0%)、「大いにある」が1割台半ば (14.9%) となっていて、3項目を合わせた『ある』は97.4%と10割弱で非常に高くなっている。一方で「ない」は1.7%となっている。(図6-20-1)

図 6-20-2 環境問題への関心度－性別・年齢別

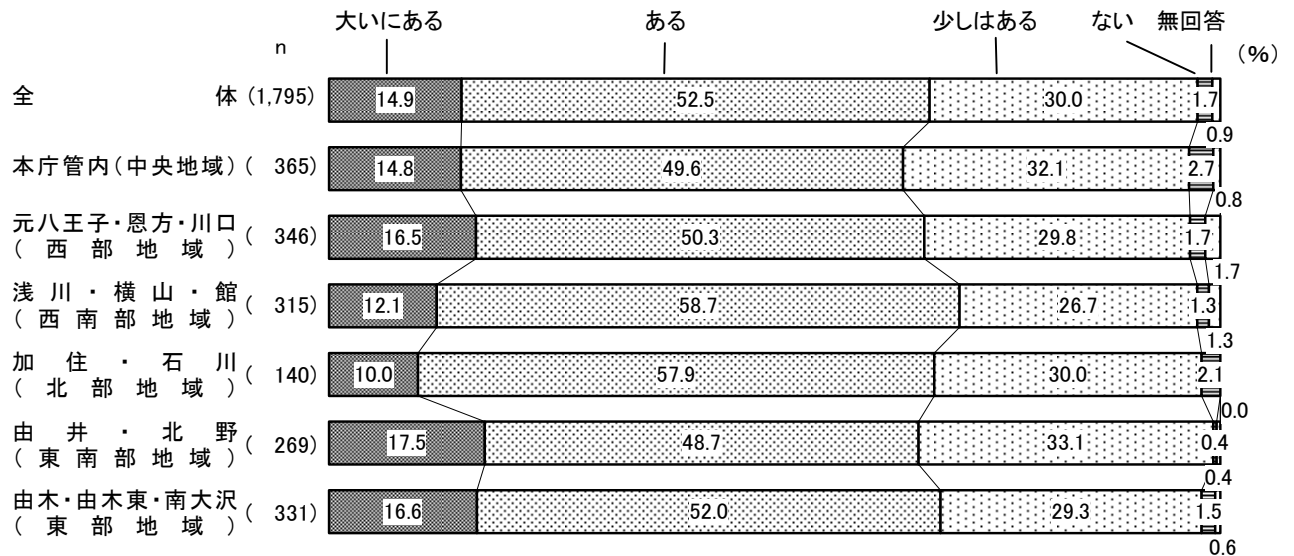


性別にみると、「大いにある」と「ある」の計は男性のほうが7.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「大いにある」と「ある」の計は60歳以上で7割強と高くなっている。

(図 6-20-2)

図 6-20-3 市環境問題への関心度－居住地域別



居住地域別にみると、「大いにある」と「ある」の計は、浅川・横山・館（西南部地域）でほぼ7割（70.8%）とやや高くなっている。(図 6-20-3)

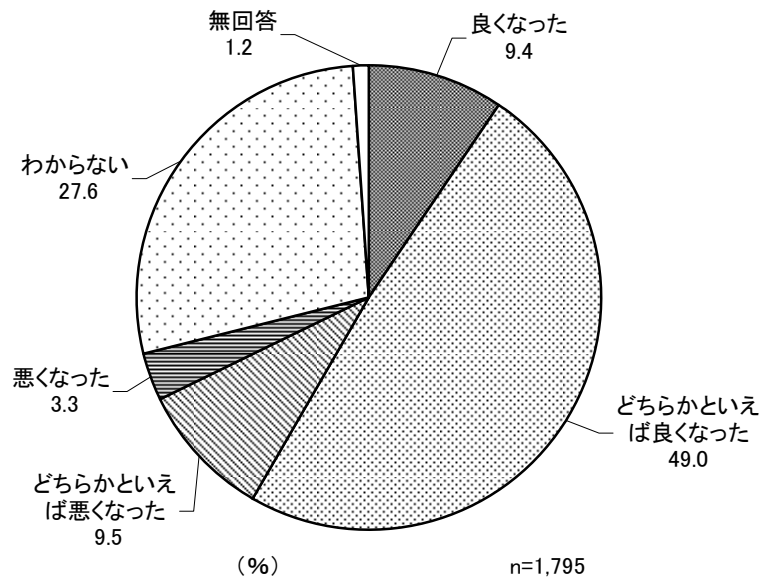
6-21 市の現在の環境

◇『良くなった』が6割弱

問38 あなたは、本市の環境（水、緑、ごみ、大気など）が以前と比べどうなったと感じていますか。

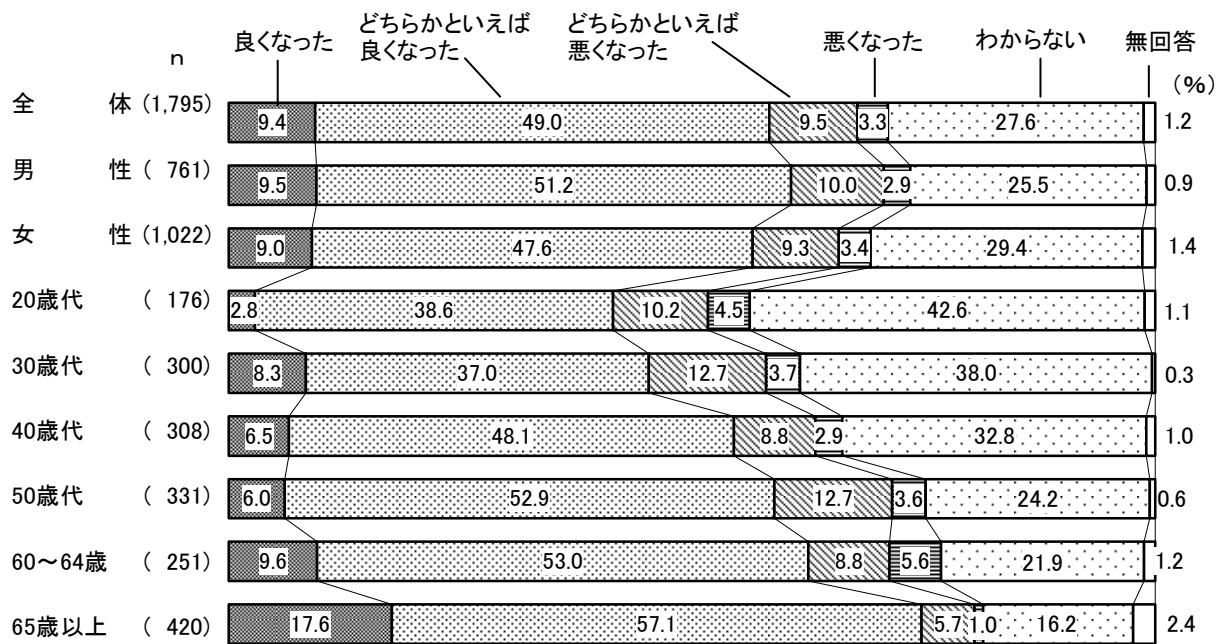
（○は1つだけ）

図6-21-1



市の環境が以前と比べてどうなったと感じるか聞いたところ、「良くなった」（9.4%）と「どちらかといえば良くなった」（49.0%）を合わせた『良くなった』は6割弱（58.4%）となっている。一方、「どちらかといえば悪くなった」（9.5%）と「悪くなった」（3.3%）を合わせた『悪くなった』は1割強（12.8%）となっている。（図6-21-1）

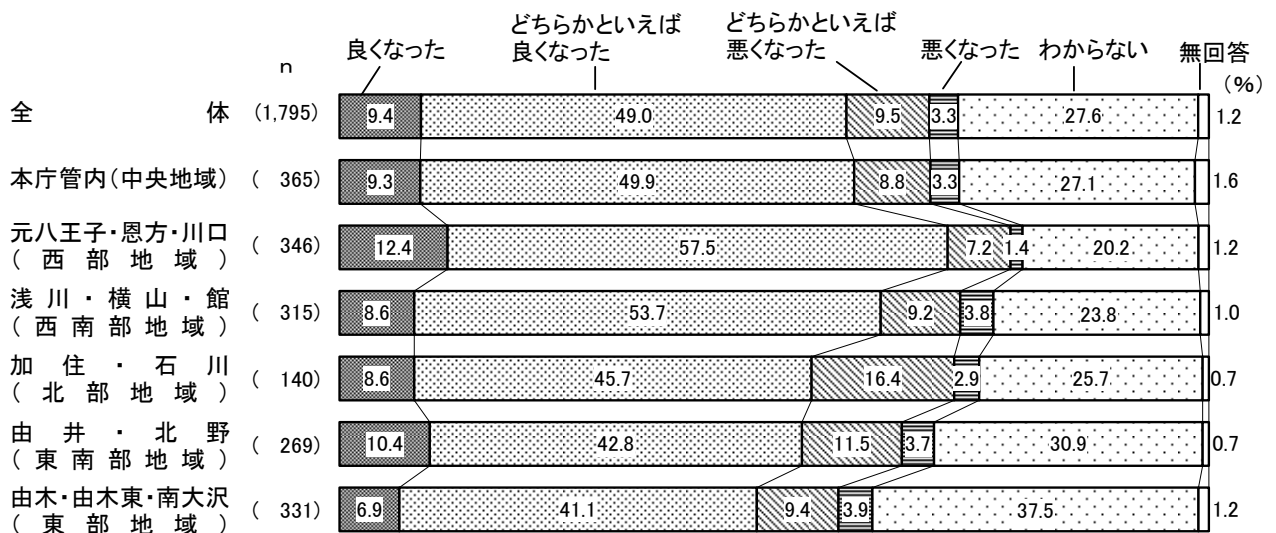
図 6-21-2 市の現在の環境—性別・年齢別



性別にみると、『良くなった』は男性のほうが4.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『良くなった』は年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられ、特に65歳以上で7割台半ば（74.7%）と高くなっている。（図6-21-2）

図 6-21-3 市の現在の環境—居住地域別



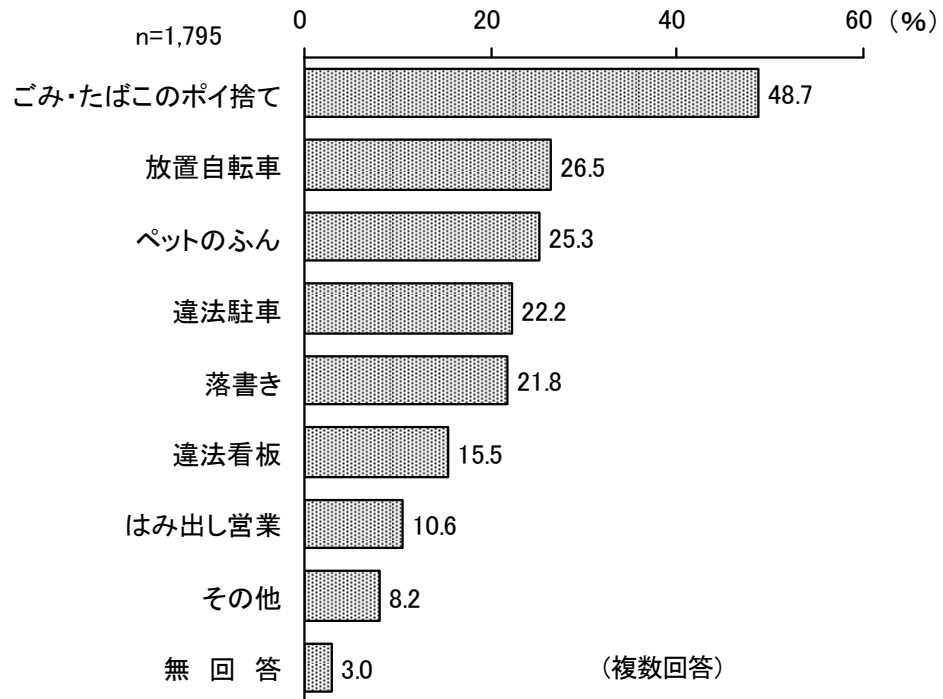
居住地域別にみると、『良くなった』は元八王子・恩方・川口（西部地域）でほぼ7割（70.1%）と最も高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で5割弱（48.0%）と最も低くなっている。（図6-21-3）

6-22 都市の美観が損なわれる原因

◇「ごみ・たばこのポイ捨て」が5割弱で突出

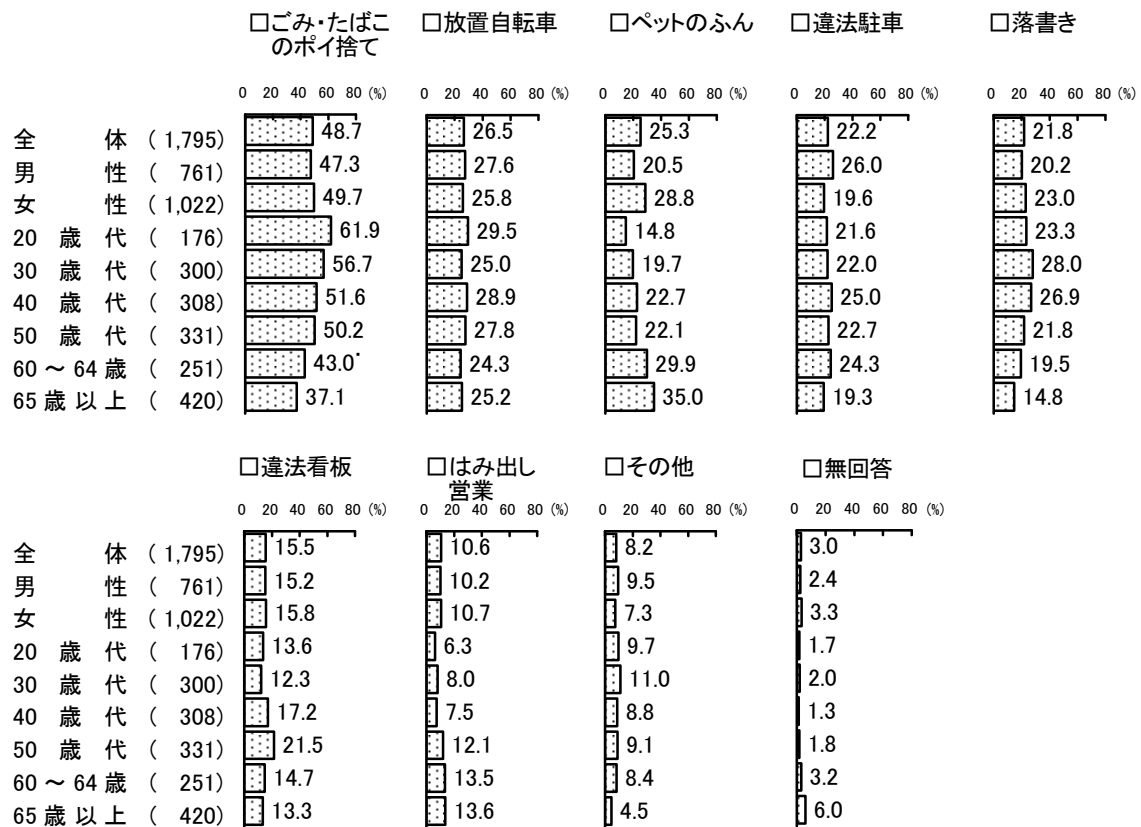
問 39 都市の美観が損なわれる主な原因は、次のどれだと思いますか。（○は2つまで）

図 6-22-1



都市の美観が損なわれる主な原因について聞いたところ、「ごみ・たばこのポイ捨て」が5割弱（48.7%）と最も高く、ついで「放置自転車」（26.5%）、「ペットのふん」（25.3%）、「違法駐車」（22.2%）、「落書き」（21.8%）の順が続いている。（図 6-22-1）

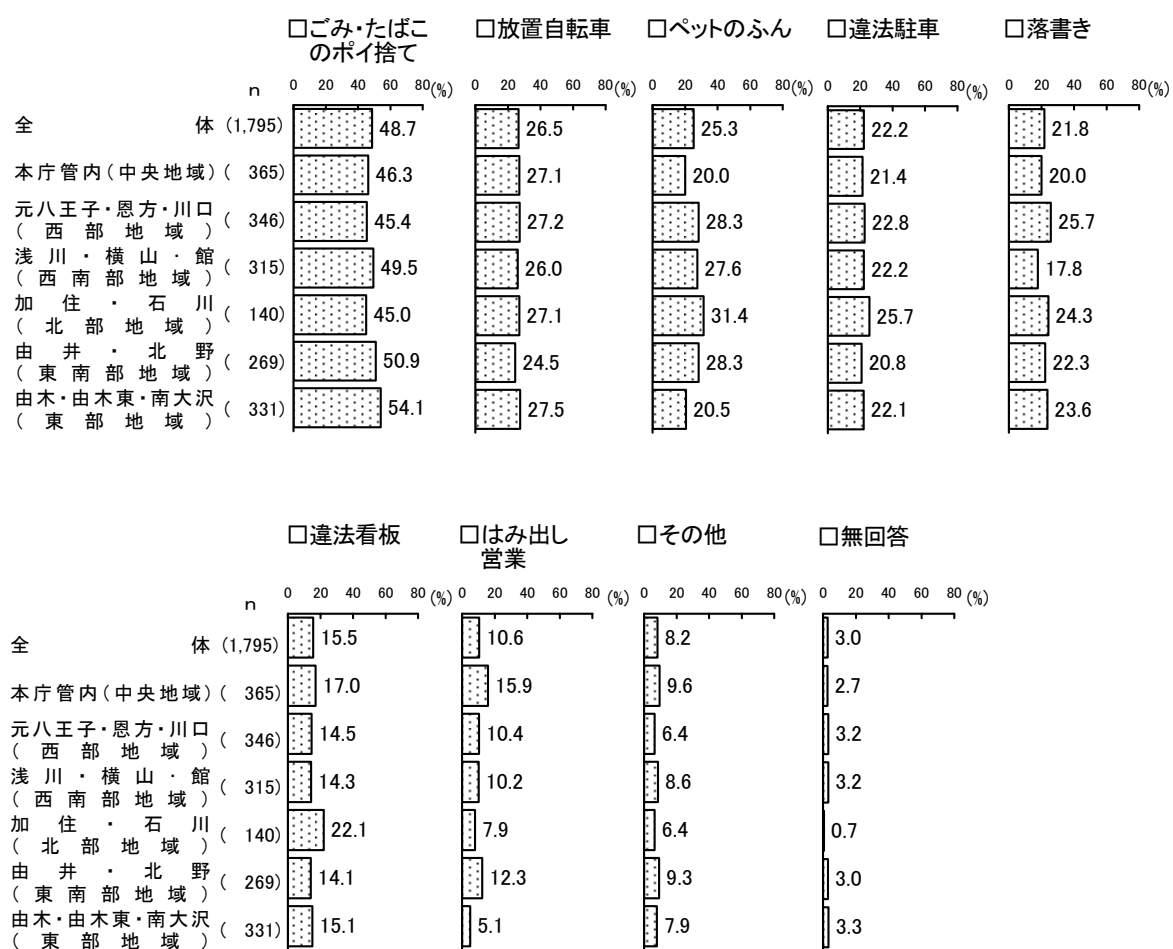
図 6-22-2 都市の美観が損なわれる原因—性別・年齢別



性別にみると、「違法駐車」は男性のほうが6.4ポイント高く、「ペットのふん」は女性のほうが8.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」は年齢が低くなるほど割合が増加する傾向にあり、20 歳代では6割強（61.9%）と高くなっている。「ペットのふん」は65 歳以上では3割台半ば（35.0%）と高くなっている。（図 6-22-2）

図6-22-3 都市の美観が損なわれる原因－居住地域別



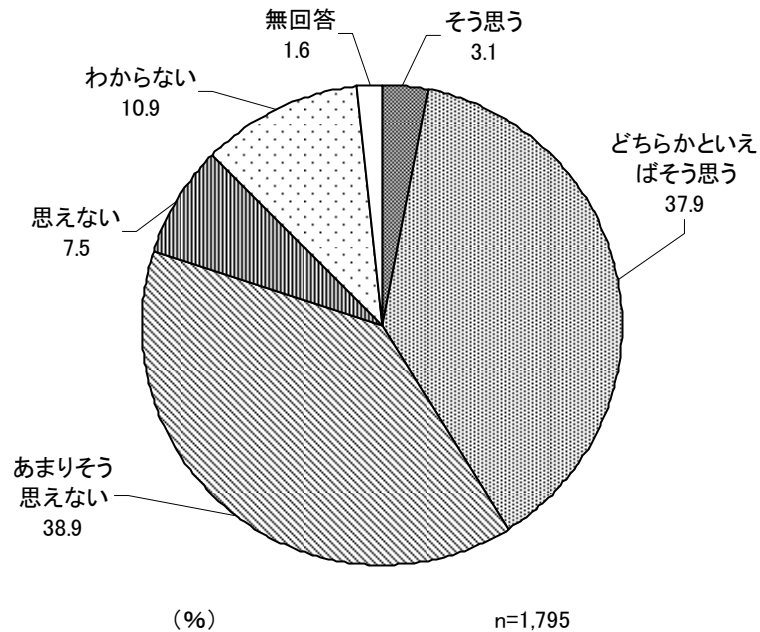
居住地域別にみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で5割台半ば（54.1%）と高く、「ペットのふん」は加住・石川（北部地域）で3割強（31.4%）と高くなっている。（図6-22-3）

6-23 市は美観が保持されたまちだと思うか

◇『思えない』が5割弱

問 40 本市は、都市の美観が保持されているまちであると思いますか。(○は1つだけ)

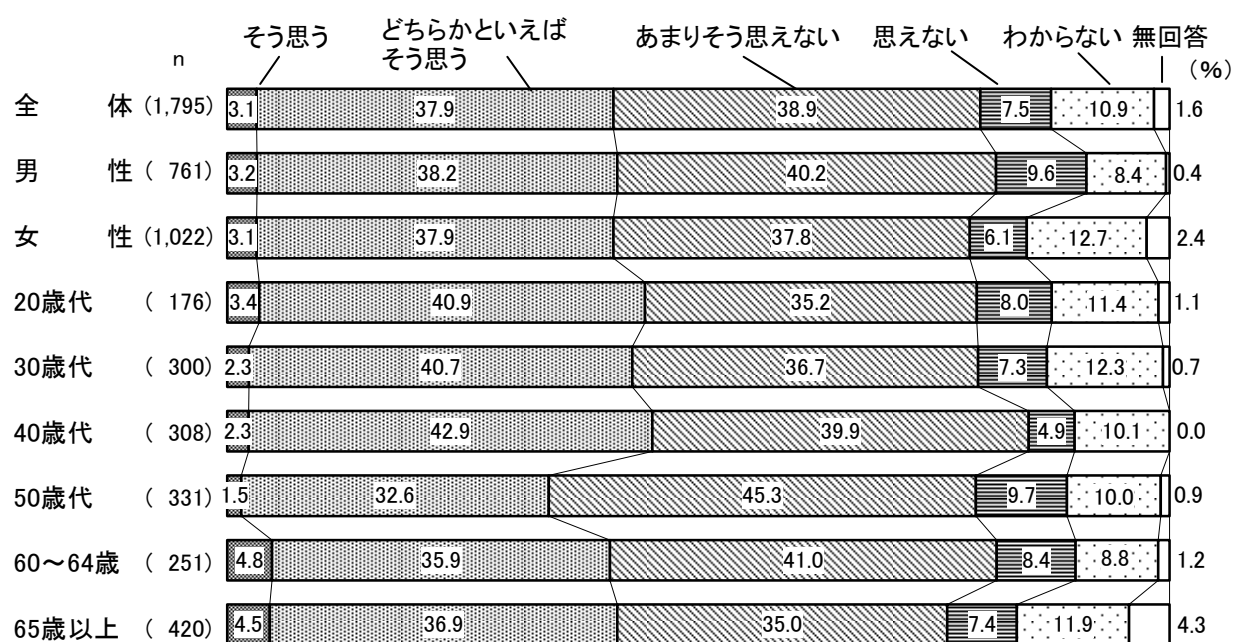
図 6-23-1



八王子市は美観が保持されたまちだと思うかどうか聞いたところ、「あまりそう思えない」(38.9%)と「思えない」(7.5%)を合わせた『思えない』が5割弱(46.4%)となっている。一方、「どちらかといえばそう思う」が4割弱(37.9%)で、「そう思う」(3.1%)と合わせた『そう思う』が4割強(41.0%)となっている。

(図 6-23-1)

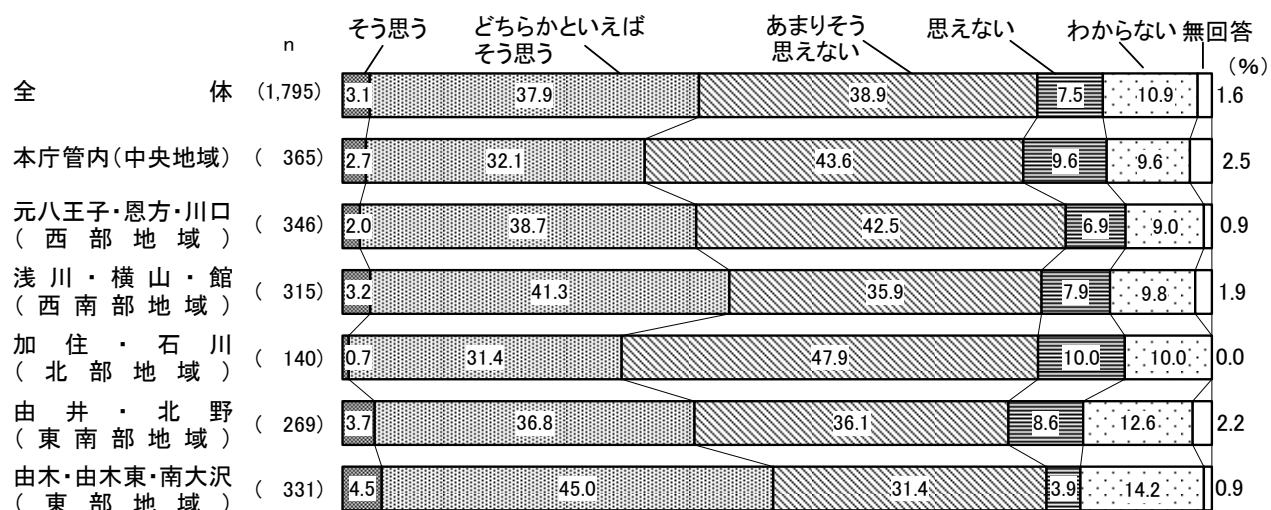
図6-23-2 市は美観が保持されたまちだと思うかー性別・年齢別



性別にみると、『思えない』は、男性のほうが5.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『思えない』は50歳代で5割台半ば（55.0%）と高くなっている。（図6-23-2）

図6-23-3 市は美観が保持されたまちだと思うかー居住地域別



居住地域別にみると、『思えない』は加住・石川（北部地域）が6割弱（57.9%）と高くなっている。

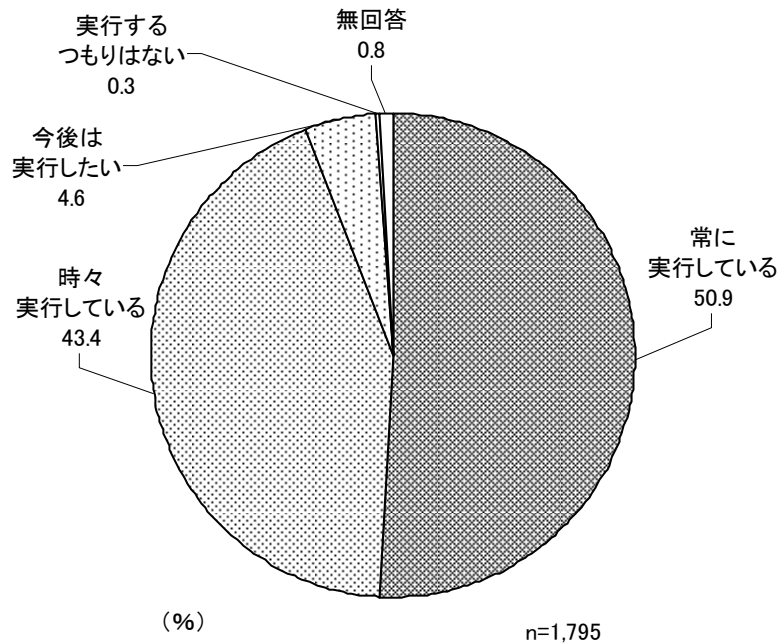
（図6-23-3）

6-24 省エネ・省資源を実行しているか

◇『実行している』が9割台半ばの大多数

問 41 省エネ・省資源のためには、冷暖房を控える、電気をこまめに消す、冷蔵庫の開閉に気を遣う、ごみ減量のためのリサイクルを心がける、マイカーの使用を控える、省エネ製品を利用する、買物用のバッグを持参して買い物に行くなどがありますが、あなたは、省エネ・省資源を意識して実行していますか。(○は1つだけ)

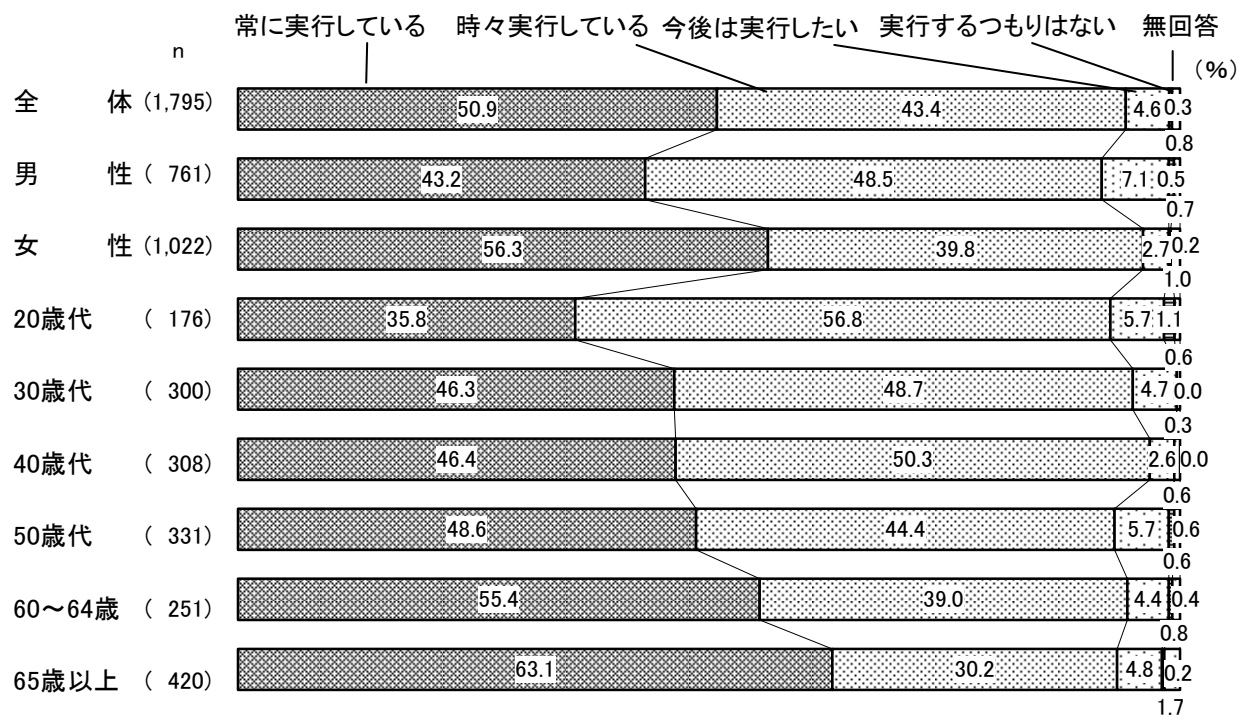
図 6-24-1



省エネ・省資源の実行について聞いたところ、「常に実行している」がほぼ5割（50.9%）、「時々実行している」が4割強（43.4%）で、両者を合わせた『実行している』は9割台半ば（94.3%）と高くなっている。

（図 6-24-1）

図6-24-2 省エネ・省資源を実行しているかー性別・年齢別



性別にみると、「常に実行している」は女性のほうが13.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「常に実行している」の割合は年齢が高くなるほど増加する傾向がみられ、65歳以上では6割強（63.1%）となっている。（図6-24-2）